

ブローバスSXⅡ

スーパーエクセレントバス

ネオエクセレントバス

ネオマーブバス

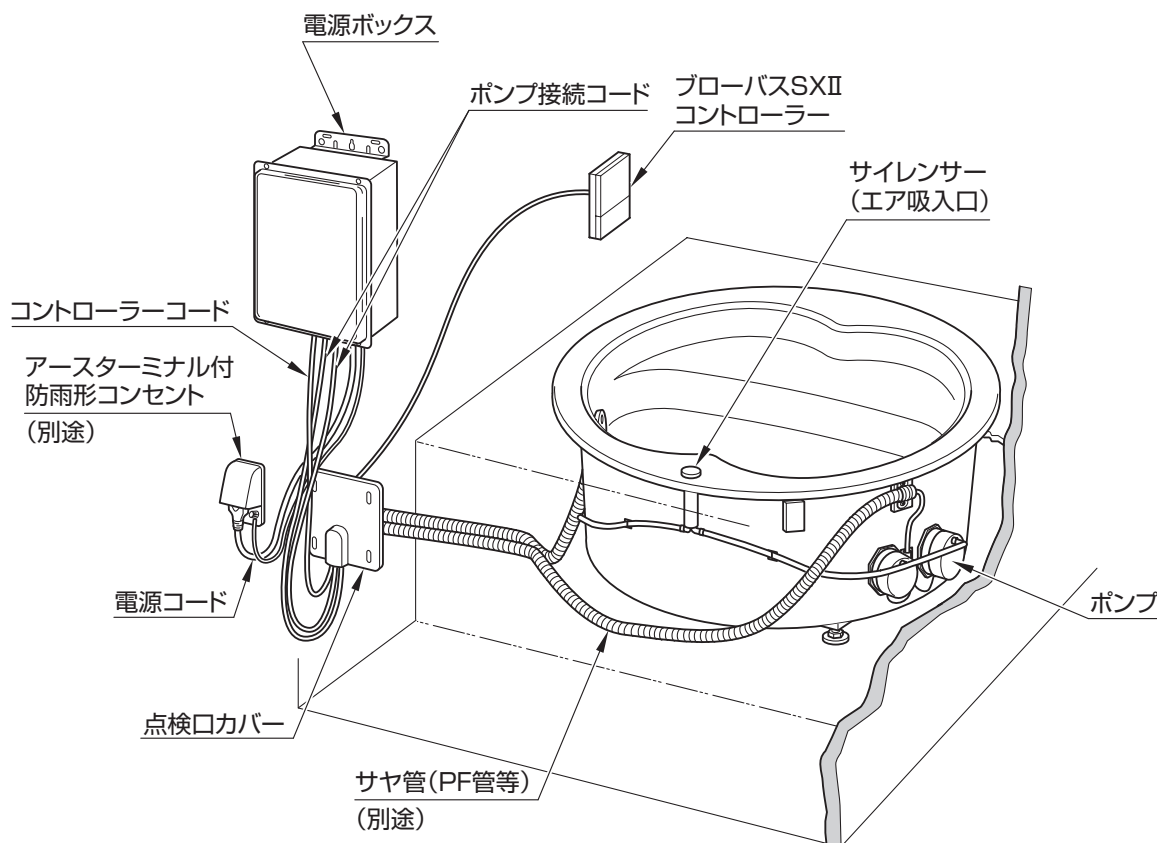
製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けてください。
取付後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

浴槽は施工説明書に則った標準施工を行わないと破損しけがをしたり、水漏れのため家財に損害をあたえるおそれがあります。施工時は、施工説明書を必ずご確認ください。

当社が指定する商品以外の組み合わせ、施工方法、ご使用方法を行った場合は、当社による保証ができないことがあります。あらかじめご了承ください。

現場で据付高さ調整する浴槽のエプロン部推奨高さは400～450mm程度になります。
ただし浴槽深さ、ステップの有無、お客様の体格、身体能力等を考慮し調整ください。

- このたびはTOTOブローバスSXⅡをご採用いただきましてありがとうございました。
- この説明書は、ブローバスSXⅡの施工のみを記載しています。
浴槽本体・エアブローⅡの施工については、それぞれの施工説明書をご確認の上、正しい施工をお願いします。
- 浴槽据え付け・ポンプ・電源ボックス取付工事及び電気・水道工事は工程を十分に打ち合わせの上、行ってください。
- 工事完了後は、お客様に操作説明を行い「取扱説明書(保証書付)」をお渡しください。
なお、「保証書」には必ず必要事項を記入してください。
- 施工説明書に記載の品番は、改訂する場合がありますのでご了承ください。



1. 安全上のご注意	4～7
2. セット内容	8
3. 寸法図および仕様	9～13
1. 電源ボックス寸法図	9
2. 電源ボックス仕様	9
3. 電源ボックス設置場所の選定	9
4. ポンプ周辺寸法(スーパーエクセレントバス)	10
5. 寸法図・ポンプ周辺寸法・穴あけ範囲・位置(ネオエクセレントバス)	12
6. 寸法図・ポンプ周辺寸法・穴あけ範囲・位置(ネオマーブバス)	13
4. 施工上のご注意	14
5. 施工手順	15
6. 施工要領	16～38
1. 浴槽の穴あけ	16
2. 下地づくり	16
3. 排水配管の取り付け	17
4. コントローラー取付位置	18
5. ポンプ接続コード取出口の壁開口	19
6. ポンプ接続コードの壁取り出し	21
7. ポンプ接続コードの取り付け	22
8. ポンプ・電源ボックスの取り付け	24
9. コードの接続(電源ボックス側)	28
10. 電気工事	29
11. 確認及び試運転	30
12. コントローラーの取り付け	33
13. 浴槽の据え付け	34
14. タイル仕上げ	35
15. 点検口カバーの取り付け	38
16. 最終確認	38
7. 別売品	39

1. 安全上のご注意（必ずお守りください）

●安全のために必ずお守りください

取付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

この施工説明書では、製品を安全に正しく取り付けていただき、使用者への危害や財産への損害および工事業者への危害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味はつぎのようになっています。

表 示	意 味
 警告	死亡や重傷を負う可能性がある内容
 注意	傷害や物的損害が発生する可能性がある内容

守っていただく事項の種類を表すマークです

表 示	意 味
	行ってはいけない「禁止」の内容
	必ず実行していただく「強制」の内容
	必ずアース線を接続してください

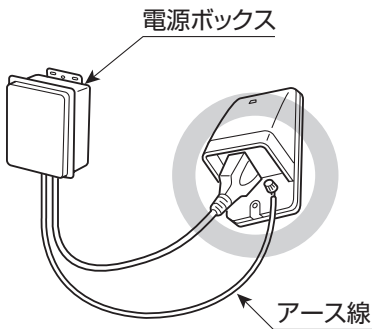
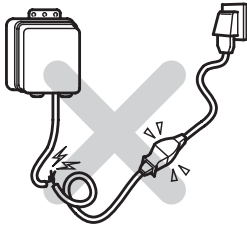
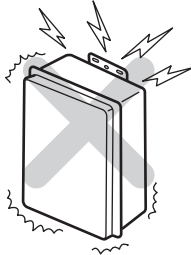
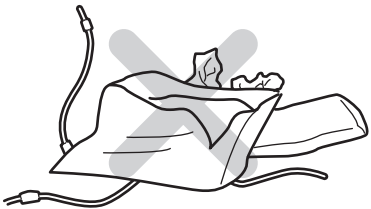
警告・注意事項
は、必ず守って
くださいね！



取付工事完了後、施工説明書に記載の「確認および試運転（P.30～P.32）」にしたがって各部の点検を行い、器具のガタツキや漏電・水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

製品に同梱されている取扱説明書（保証書付）は、使用者に製品を正しく安全に使用していただくための重要なものです。紛失したり汚れたりしないように大切に保管し、工事完了後、使用者または建築工事責任者にお渡しください。なお、保証書には必要事項を必ずご記入ください。

⚠ 警告

 必ず実行	設置は、施工説明書にしたがって確実に行う 設置が不完全な場合、感電や火災などの原因となります。また、水漏れにより家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。	
 アース線	電気工事は、関連する法令・法規にしたがって必ず「有資格者（電気工事士）」が行う また、この製品は、D種接地工事を行ったアースターミナル付防雨形コンセントを使用する 誤った工事を行うと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。	
 禁止	電源コードや接続コード・コントローラコードの加工をしない また、電源コードへの延長コードを使用、他の器具とのタコ足配線をしない 感電や発熱・火災の原因となります。	
 禁止	メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取り付ける場合、電源ボックスと造営物とは電氣的に接続しない 感電や発熱・火災の原因となります。	
 必ず実行	電源ボックスの設置は、質量に十分耐える強度のある場所に施工説明書通りに確実に行う 設置に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。	
 必ず実行	開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する ビニール袋などは、子供などがかぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、木杵・釘・段ボールや締付バンドなどでケガをするおそれがあります。	

⚠ 注意



禁 止

浴槽搬入の際、エアーホース・サイレンサー・ポンプケースなどを持ったり、硬いものをぶつけたりしない

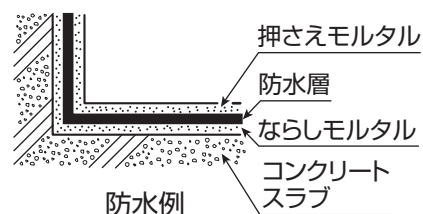
水漏れにより家財を汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



必ず実行

必ず防水層を設ける

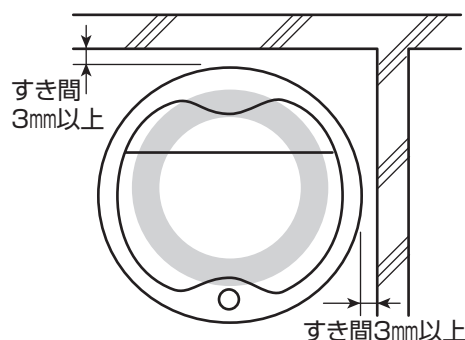
工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



必ず実行

浴槽を据え付ける際、壁・タイルとの間には、3mm以上すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実にを行う

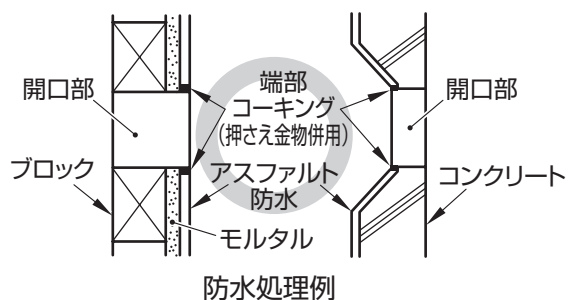
浴槽の熱膨張による、タイルなどの壁材を破損や水漏れにより家財などへ被害をあたえるおそれがあります。



必ず実行

配線の取出開口部の防水処理は確実にを行う

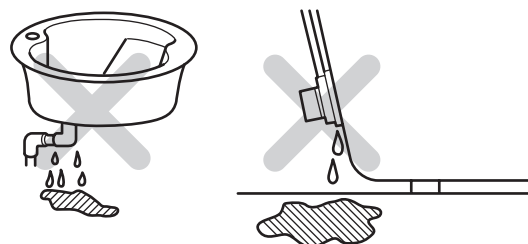
工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



必ず実行

排水配管およびポンプの取り付けは、手順にしたがって確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財を汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



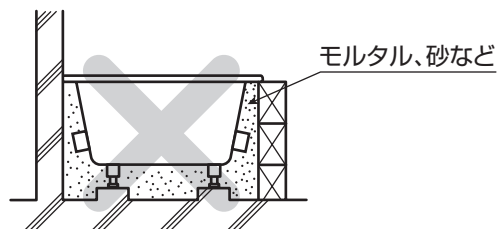
⚠ 注意



禁 止

モルタルなどで浴槽裏面・浴槽リム
・配管を埋め込まない

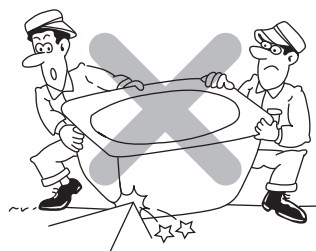
浴槽破損の原因となります。



禁 止

浴槽に硬いものを落したり、
ぶついたりしない

浴槽にひびが入りケガをしたり、また、水漏れにより家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



禁 止

浴槽の上に乗って作業をしない

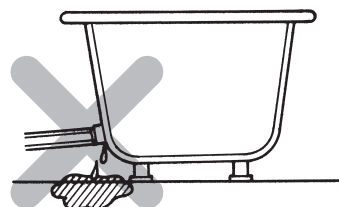
足をすべらせてケガをしたり、
製品に傷をつけたりするおそれがあります。



必ず実行

浴槽への穴あけは、
穴あけ許容範囲内で行う

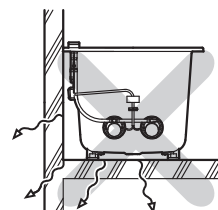
穴あけ許容範囲外に穴あけした場合、水漏れにより家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。



必ず実行

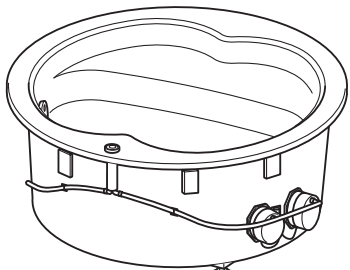
階上設置する場合、
階下への防振対策を行う

防振対策に不備があるとブロー運転時の騒音の原因となります。

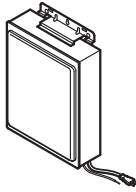
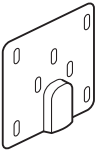
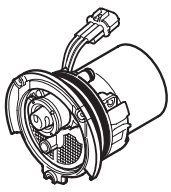
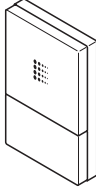
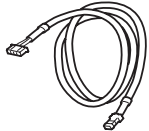


2. セット内容

●製品を開梱しましたら、下記内容にそって部品と個数を確認してください。

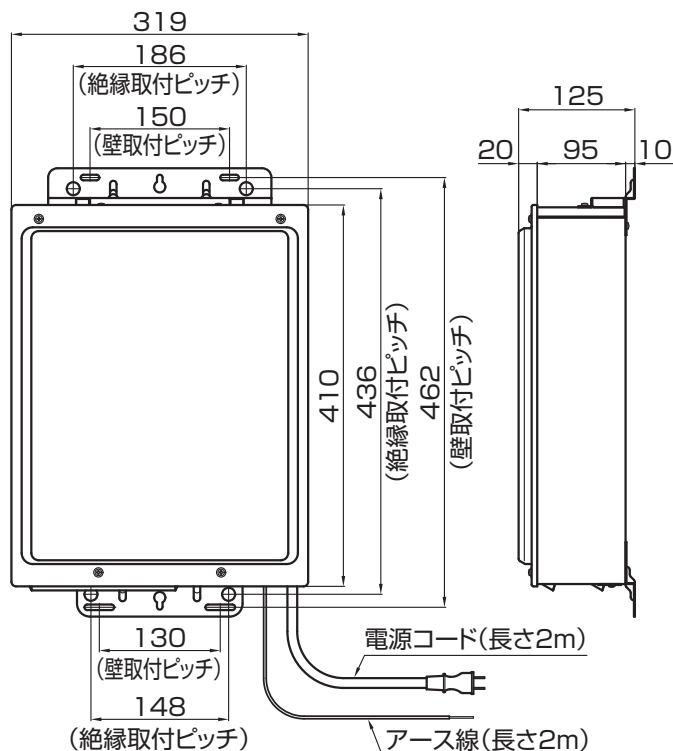
浴槽本体部	品 名	形 状	個数	浴槽本体形状	個数
	施工説明書	—	1	 ※上図はPVV1420	1
	取扱説明書 (保証書付)	—	1		
	型紙 (PVV1840 PVY161 PVV1530 PAQ1620 PVV1540 PAQ1600 PVV1400 PAQ1400 のみ)	—	1		
	ポンプ取合 確認用型紙		1		
	ポンプ接続コード (スーパーエクセレントバスのみ)		2		
	延長コード (スーパーエクセレントバスの PVV1620のみ)		1		
	延長コード (スーパーエクセレントバスの PVV1410のみ)		2		
	クッションテープ (ネオマーブバスのみ)	 ロール状	1		

※延長コードは、ポンプ間の距離がある製品の場合に使用します。

ブローバスSⅡ機能部	品 名	形 状	個数	品 名	形 状	個数
	電源ボックス		1	点検口カバー		1
	ポンプ	 化粧カバー  リング  ポンプ	2 または 4	コントローラー	  タッピンねじ (φ4.2×25)2本	1
	ねじ	 M3 予備4本入り	16	コントローラー コード(8m)		1

3. 寸法図および仕様

1 電源ボックス寸法図



2 電源ボックス仕様

品 名	ブローバスSXII 電源ボックス
外寸 (mm)	319(幅)×125(奥行)×410(高さ)
本 体 質 量	13kg
定 格 電 圧	AC100V
定 格 周 波 数	50/60Hz(共用)
定 格 電 流	4.6A
定格消費電力	360W
設 置 場 所	屋外壁掛形

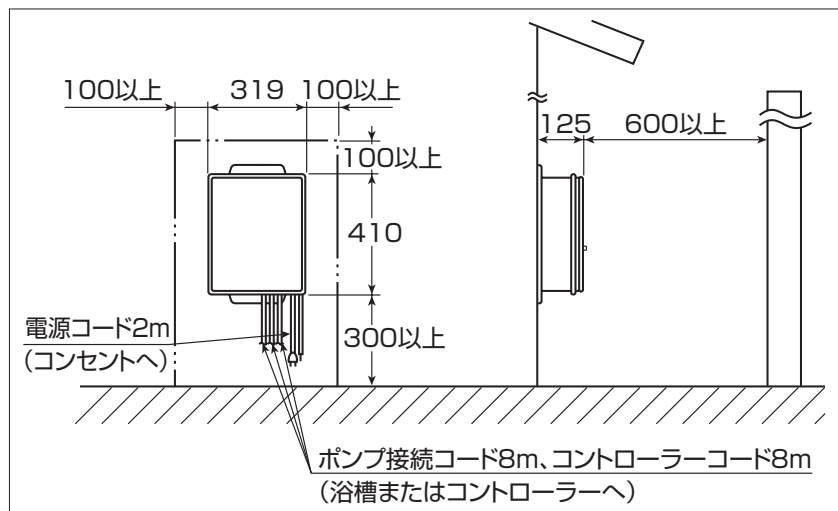
3 電源ボックス設置場所の選定

●電源ボックスの設置に当たっては次の点にご注意ください。

- 電源ボックスは屋内の浴室外または、屋外で換気の良い場所に設置してください。
- 取り付け・保守点検のため **下記スペースを確保** してください。
- 電源ボックスの設置位置は、電源コード(2m)、ポンプ接続コード(8m)、コントローラーコード(8m)の長さを考慮して決めてください。
(コードの長さが足りない場合、浴槽据え付けにP.39の長尺コードに交換してください。)
- 電源ボックスの質量(13kg)に耐えられる **強度のある壁に設置** してください。

●電源ボックスを次のような条件の屋外に設置する場合は、必ず保護カバーと換気口を設けてください。

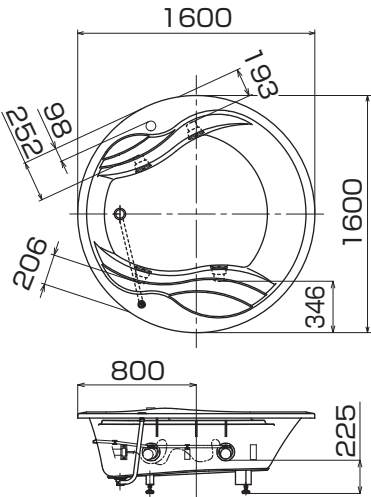
- ①海岸地区
(塩害による腐食などの防止)
- ②積雪が予想される地域



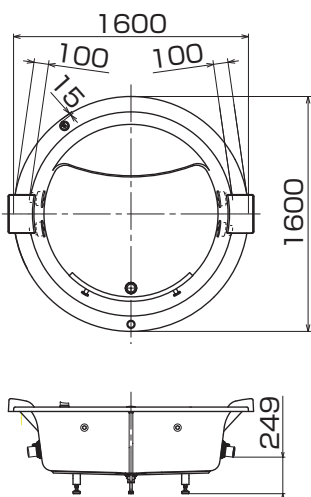
4 ポンプ周辺寸法（スーパーエクセレントバス）

※浴槽寸法詳細、穴あけ位置は別冊の施工説明書(浴槽本体)を参照ください。

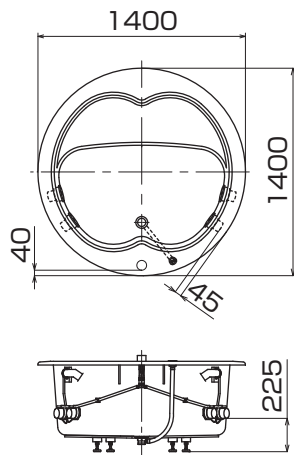
PVV1620



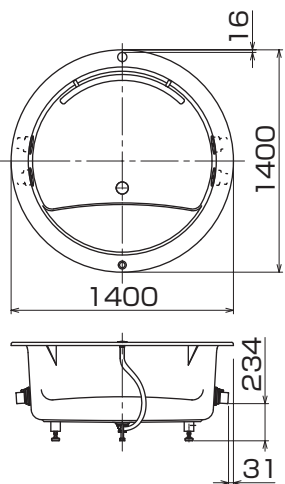
PVV1650



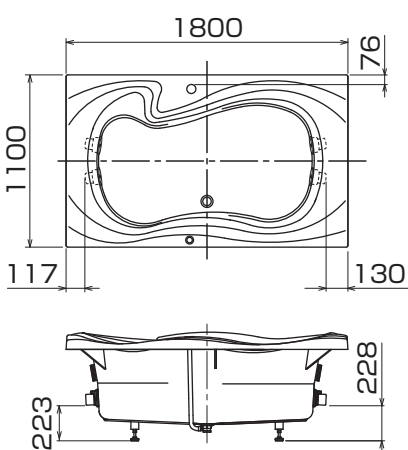
PVV1420



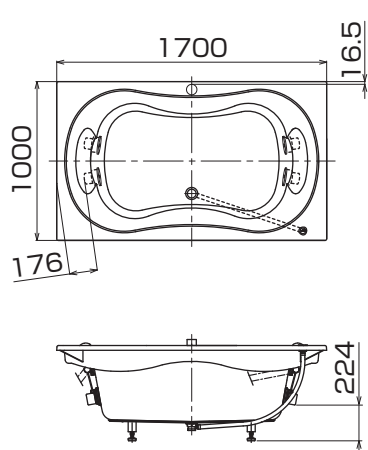
PVY 140



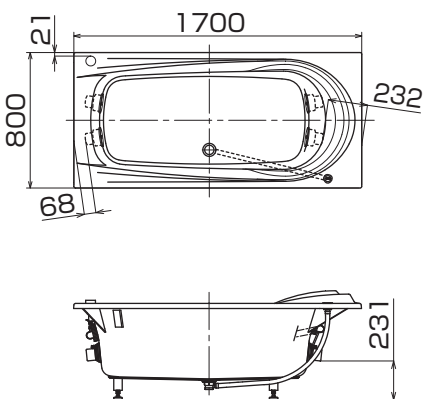
PVV1800



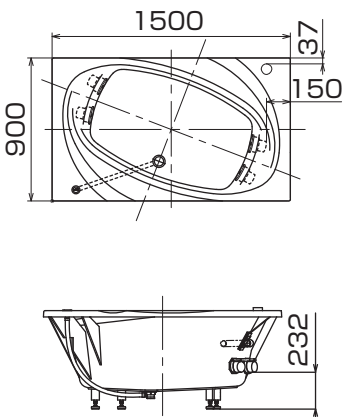
PVV1700



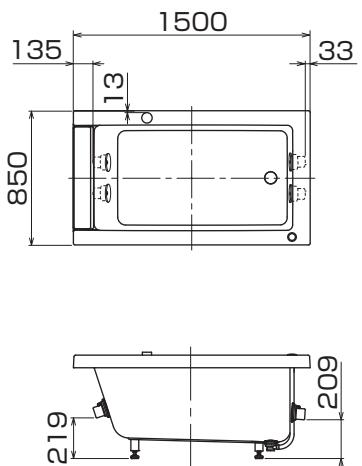
PVV1710

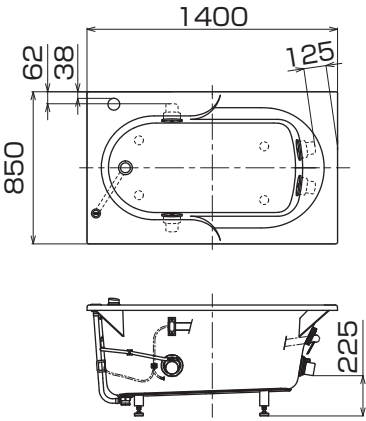
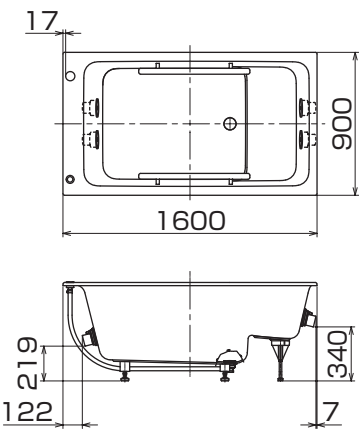
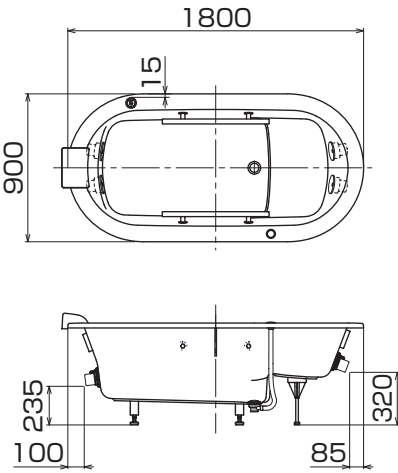
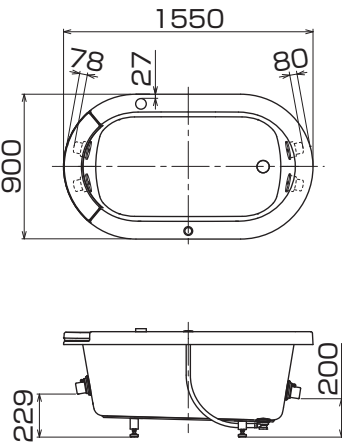
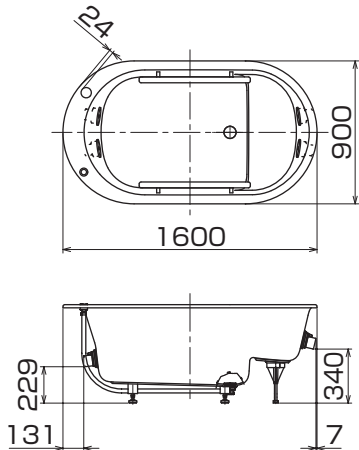
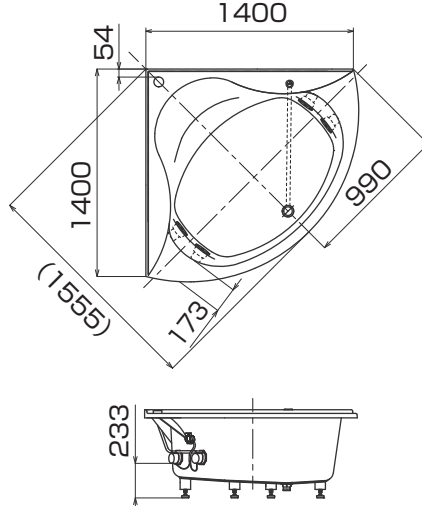
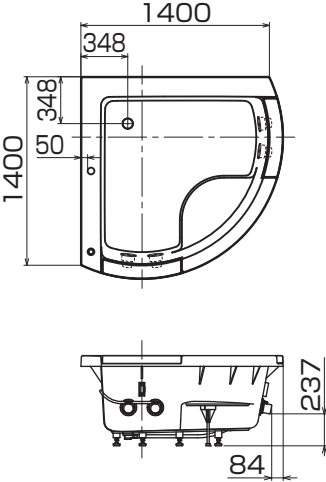
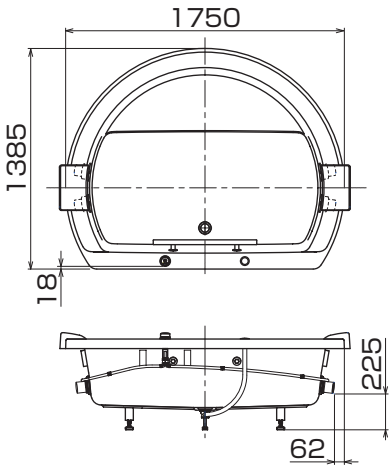
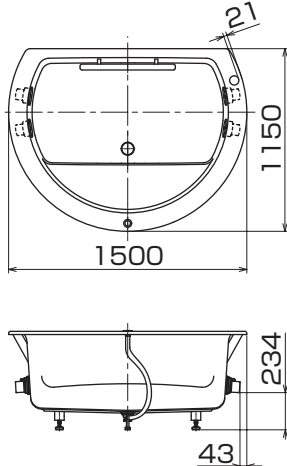


PVV1500



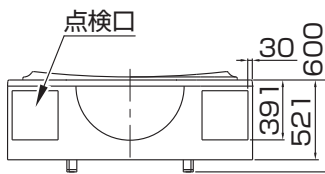
PVV1520



PVV1410 	PVY160 	PVV1840 
PVV1530 	PVY161 	PVV1400 
PVV1540 	PVV1830 	PVY150 

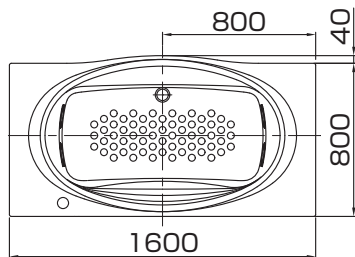
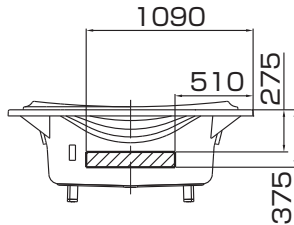
5 寸法図・ポンプ周辺寸法・穴あけ範囲・位置(ネオエクセレントバス)

PAQ1600・1601

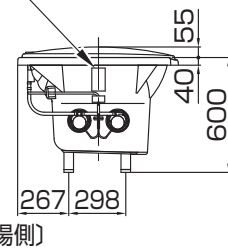
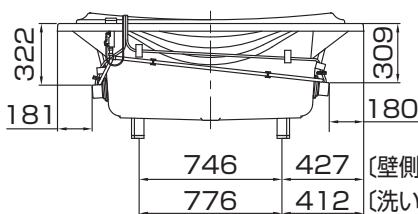


〔エプロン付きの場合〕

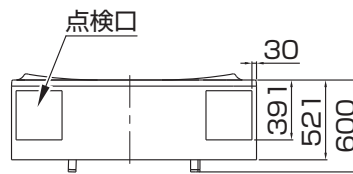
〈穴あけ範囲(P視)〉



固定板
(背側・足側各1カ所)

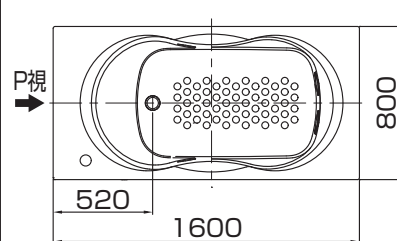
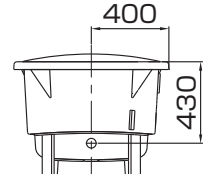


PAQ1610・1611



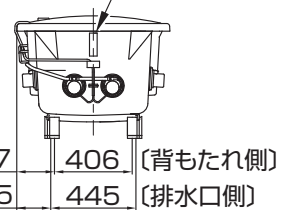
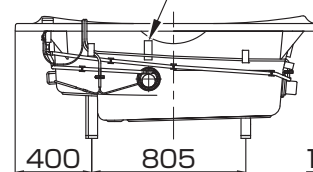
〔エプロン付きの場合〕

〈穴あけ位置(P視)〉

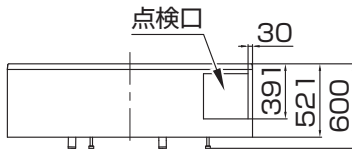


固定板(足側)

固定板(背側)

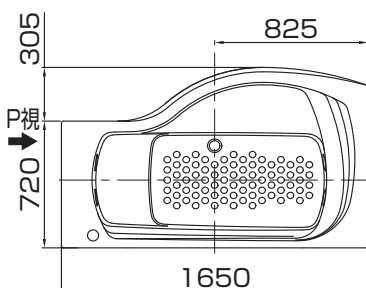
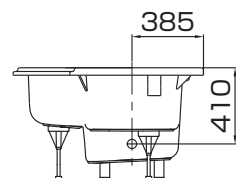


PAQ1620・1621

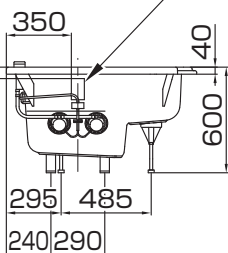
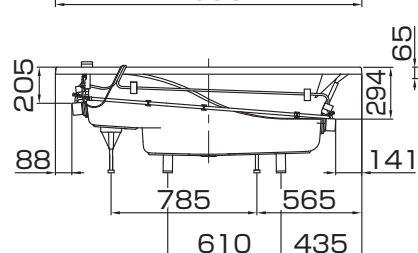


〔エプロン付きの場合〕

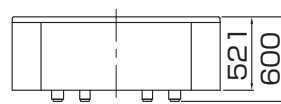
〈穴あけ位置(P視)〉



固定板
(背側・足側各1カ所)

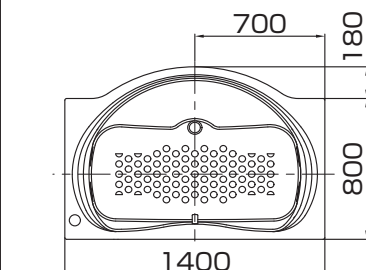
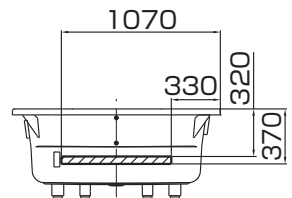


PAQ1400・1401

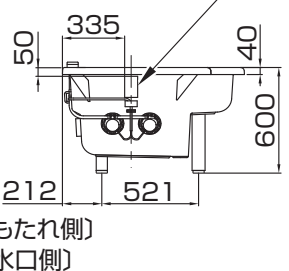
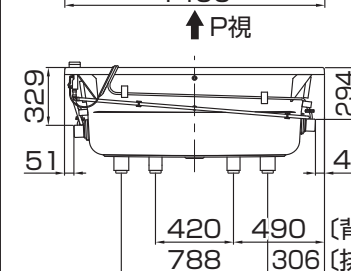


〔エプロン付きの場合〕

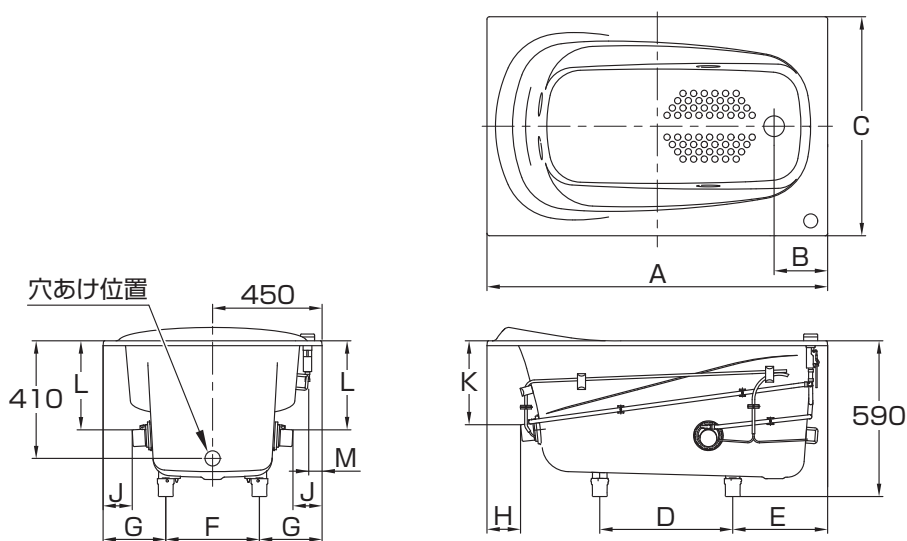
〈穴あけ範囲(P視)〉



固定板
(背側・足側各1カ所)



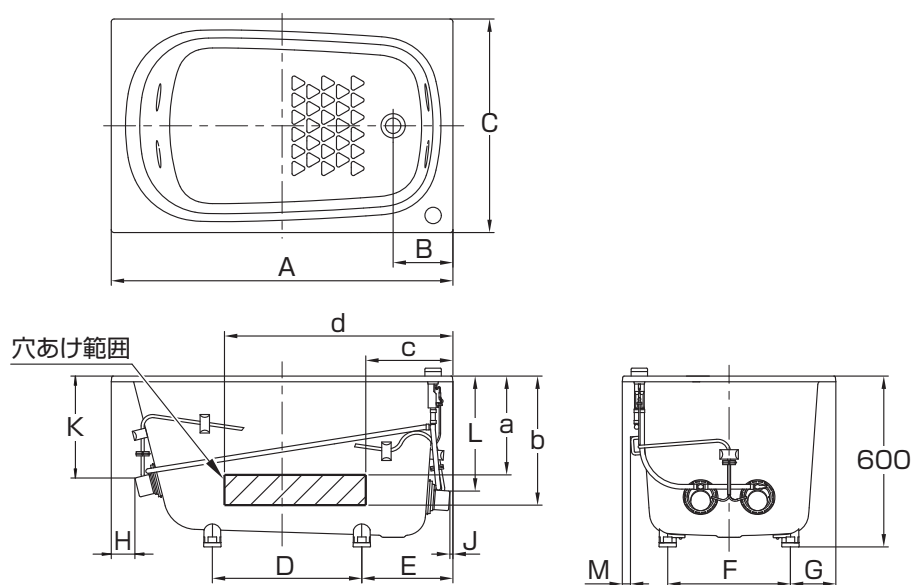
6 寸法図・ポンプ周辺寸法・穴あけ範囲・位置（ネオマーブバス）



(mm)

浴槽品番	A	B	C	D	E	背側		足側		H	J	K	L	(注) M
						F	G	F	G					
PNQ1680	1600	220	900	678	390	392	254	369	265.5	214	120	372	366	33

(注)Mは最小寸法



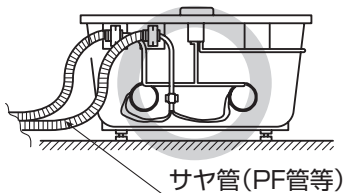
(mm)

浴槽品番	A	B	C	D	E	背側		足側		H	J	K	L	(注) M	a~b	c~d
						F	G	F	G							
PNQ1200	1200	210	750	525	320	472	139	431	160	84	11	358	404	29	400~ 420	310~600
PNQ1230	1200	210	750	525	320	361	194.5	385	182.5	98	11	347	404	76		320~600
PNQ1300	1300	210	750	585	320	470	140	343	158	108	12	347	404	30		350~600
PNQ1330	1300	210	750	585	320	363	193.5	386	182	108	11	347	404	75		330~600
PNQ1400	1400	210	750	675	320	485	146	410	170	109	12	356	404	34		320~700
PNQ1440	1400	220	800	665	330	383	208.5	390	205	117	26	347	404	91		320~700
PNQ1460	1400	210	750	700	300	365	192.5	395	177.5	122	11	347	404	67		350~700
PNQ1540	1500	220	800	765	330	378	211	394	203	123	31	347	385	88		350~700

(注)Mは最小寸法

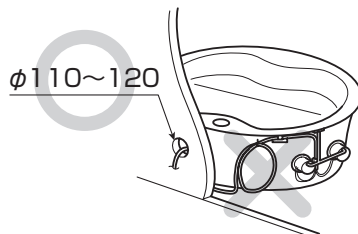
4. 施工上のご注意

- 1** コードを引き廻す際は、必ずサヤ管（PF管など）を使用する



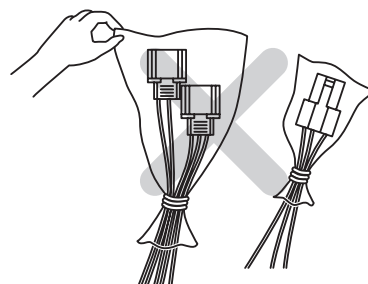
(メンテナンスができなくなります)

- 2** コードを浴室内で束ねたり、床につけない
また、取出穴はφ110～120であける



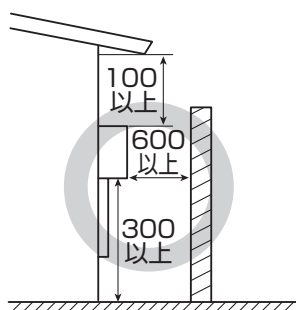
(メンテナンスができなくなります)

- 3** コードの保護材は、コードを接続するまで取り外さない



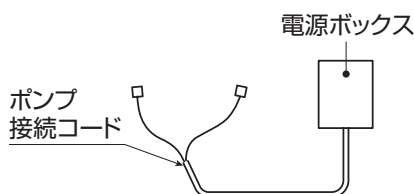
(破損の原因となります)

- 4** 電源ボックスは、点検できる場所に設置する



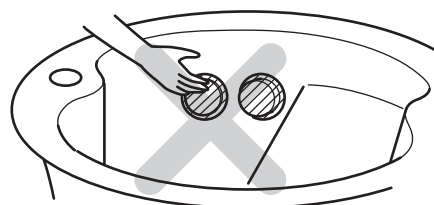
(点検できなくなります)

- 5** 電源ボックスは、ポンプ接続コード(8m)が接続可能な範囲で取り付ける



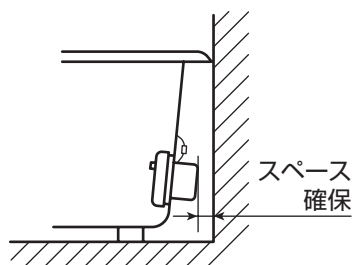
(コード長さが足りない場合、浴槽据え付けにP.39の長尺コードに交換してください)

- 6** ポンプケースの保護材は、浴槽据付後、ポンプの取り付けまでは取り外さない



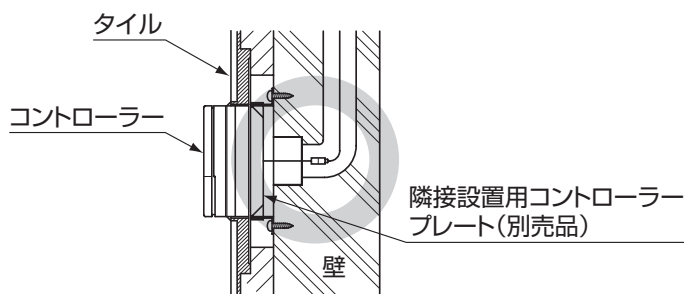
(破損の原因となります)

- 7** ポンプを取り付けるスペースを確保する
(P.10～P.13 寸法図参照)



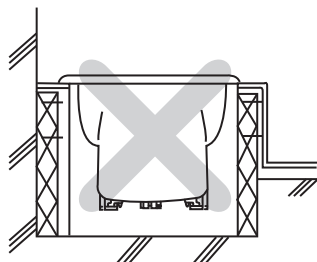
(ポンプの取り付けができなくなります)

- 8** 別売品の隣接設置用コントローラープレートを使用する場合は、タイル貼りの前に壁に埋め込む施工をする



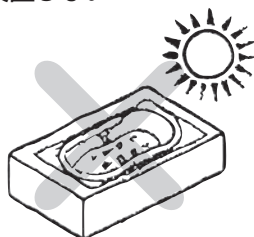
(施工できなくなります)

- 9** リム面だけで支える施工は行わない



(破損の原因となります)

- 10** 浴槽は屋外や常時、日の当たる場所(サンルームなど)に設置しない



(浴槽の変色の原因となります)

- 浴槽を廃棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。

5. 施工手順

標準施工

6. 施工要領 P.16～38

- 1 浴槽の穴あけ P.16
- 2 下地づくり P.16
- 3 排水配管の取り付け P.17
- 4 コントローラー取付位置 P.18
- 5 ポンプ接続コード取出口の壁開口 P.19～20
- 6 ポンプ接続コードの壁取り出し P.21～22
- 7 ポンプ接続コードの取り付け P.22～23
- 8 ポンプ・電源ボックスの取り付け P.24～27
- 9 コードの接続 P.28
- 10 電気工事 P.29
- 11 確認及び試運転 P.30
- 12 コントローラーの取り付け P.33
- 13 浴槽の据え付け P.34
- 14 タイル仕上げ P.35
- 15 点検口カバーの取り付け P.38

16. 最終確認 P.38

オプション部品の施工

別売品一覧表(P.39)をご確認の上、必要部材を購入してください。
また、別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって工事を行ってください。

ブローバス防振対策工事

〔ブローバス防振プレート：PZ6191〕
〔ブローバス防振ゴム脚：PZ6002 PZ6048〕

長尺コードへの交換

〔15m品：PZ6076〕

長尺コードへの交換

〔15m品：PZ6075〕

絶縁板取付工事

〔絶縁板：PZ6192〕

6. 施工要領

1 浴槽の穴あけ（給湯機などの循環アダプタを取り付ける場合）

※自然循環型給湯機は使用できません。



注意



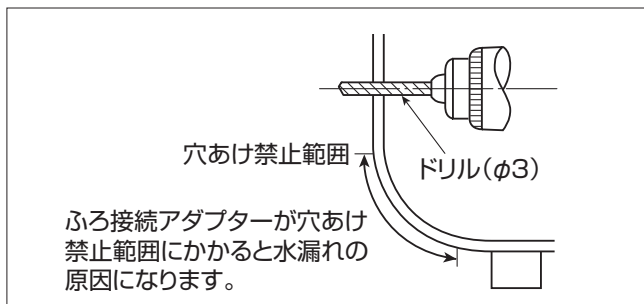
必ず実行

浴槽への穴あけは、穴あけ指定位置に穴あけする

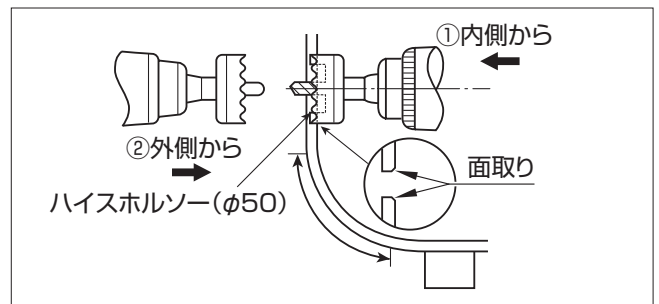
穴あけ指定位置外に穴あけした場合、水漏れにより家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。

〔穴あけ手順〕

●穴あけ後は穴の**エッジ部の面取り**を必ず実施してください。



穴あけ位置にφ3のドリルで浴槽内側からセンター穴をあけてください。



センター穴をガイドにしてφ50のハイスホルソーで①浴槽内側から半分穴あけし、次に②浴槽外側より貫通穴をあけてください。

- ・ドリルは400rpm以下でご使用ください。
- ・穴あけ周囲は、紙やすりなどでC1～C2程度面を取ってください。

●穴あけ指定位置は、P.12～P.13に記載していますので確認してください。

2 下地づくり



注意



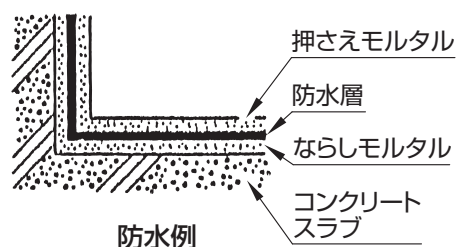
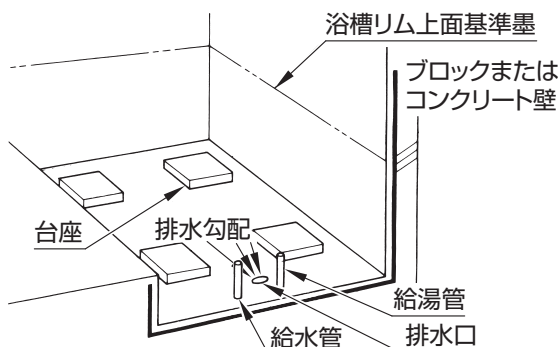
必ず実行

必ず防水層を設ける

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。

施工のポイント

- ・浴槽据付床は、排水勾配をとり、浴槽脚部はブロックやモルタルなどで台座を設けてください。
- ・台座は全て同じレベルになるように設置してください。



3 排水配管の取り付け



注意



必ず実行

排水配管の取り付けは、手順にしたがって確実に行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。

- ① 間接排水の場合は、浴槽の排水口下に径50mm以上の排水管を設けておいてください。(図1 ※1参照)

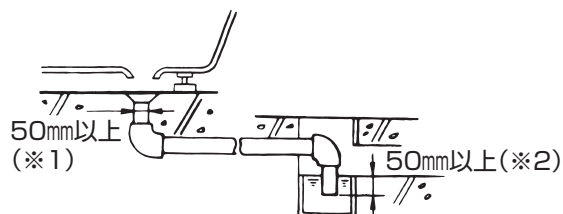


図1

- ② 直接排水の場合は、あらかじめ浴槽の排水金具にソケットやエルボをねじ込み配管をセットしておいてください。(図2参照)

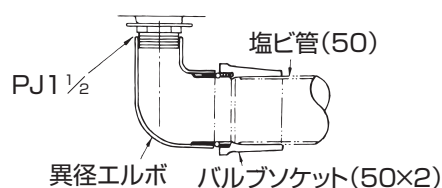


図2

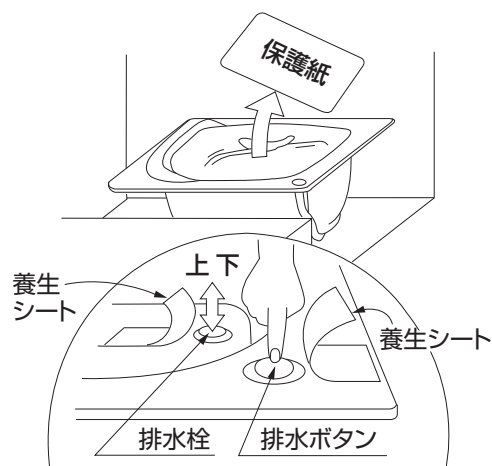
- 排水配管の途中には下水ガスが浴室に逆流しないよう必ずトラップ(封水深50mm以上)を設けてください。(図1 ※2参照)
- 直接排水の場合、排水金具にソケットやエルボをねじ込むときは金具本体が共回りしないよう十分ご注意ください。
- 直接排水の場合は、ゴムジョイントなどを用いて建築躯体に振動が伝わらないよう配慮してください。

	直接排水	間接排水
ネオエクセレントバス	すべて対応可能	すべて対応可能
ネオマーブバス	PNV1680のみ対応可能	
スーパーエクセレントバス	すべて対応可能	

- ③ ワンプッシュ排水栓仕様の場合、ワンプッシュ排水栓の作動確認を行ってください。

- 浴槽の保護紙をはずしてください。
- 排水ボタン部・排水栓部の養生シートをはがして排水ボタンを押し、**排水栓がスムーズに上下するか**確認してください。

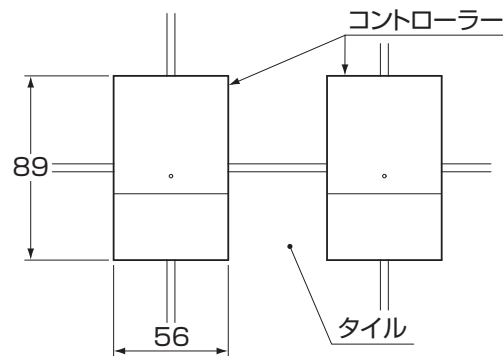
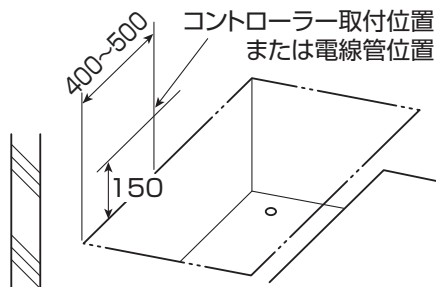
なお確認終了後は必ず保護紙および養生シートをもとの状態に戻してください。



4 コントローラー取付位置

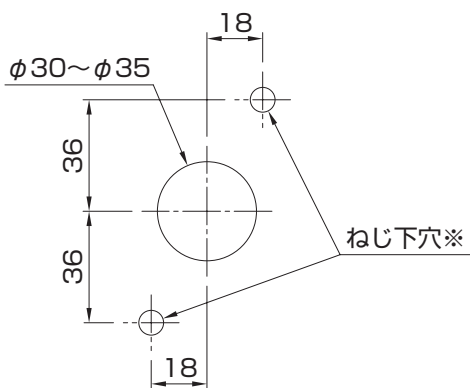
- タイル貼り基準・浴槽据付基準を確認考慮のうえ、浴槽の中および洗い場から容易に操作が行える位置にコントローラー取付位置墨を決めてください。

<施工例>



- 浴槽上面とコントローラー取付芯は150mm以上離して取り付けてください。
また、インテリアバーを取り付ける場合は、コントローラーとの取り合いにご注意ください。
- 付属のコントローラーコードの**長さは8m**です。
8m以上必要な場合は、別売品の長尺コード(別売品:P.39参照)を使用してください。

<壁けがき・穴あけ>



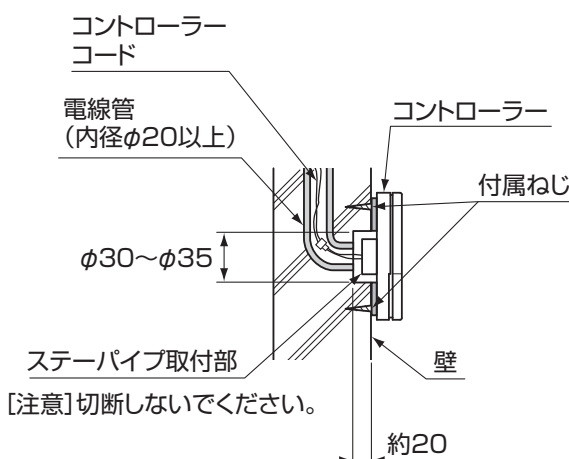
コントローラー取付位置をけがき、取付芯に穴 $\phi 30 \sim \phi 35$ と、ねじ下穴(2カ所)をあけてください。

※ねじ下穴(2カ所)は、壁面に直接ねじで固定できる場合は $\phi 2.8$ であけてください。

※壁材により、ねじを直接ねじ込めない場合は、けがいた位置に下穴をあけ、プラグ(現場手配)を打ち込んでください。

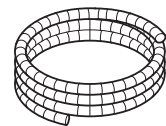
- ・下穴はプラグのサイズに合わせて穴あけしてください。
- ・プラグは、コントローラー付属ねじ $\phi 4 \times 25$ に合ったものを使用してください。

<コントローラー取り付け>



事前準備部材(現場手配)
電線管(内径 $\phi 20$ 以上)

※現場にあわせて必要な長さ、その他の必要部材を手配してください。



- 事前に壁内に電線管(内径 $\phi 20$ 以上)を設置してください。配線を埋め込むと、メンテナンスができなくなります。
- コントローラー本体の**ステーパイプ取付部を切断しない**でください。コントローラー内部に水が入り故障するおそれがあります。
- コントローラーコードは**コネクター部を切断しない**でください。

5 ポンプ接続コード取出口の壁開口

- 浴槽・機能ユニットの設置位置(P.9参照)を考慮してポンプ接続コード取出口を決め **φ110～120mm** で穴あけしてください。

※メタルラス張り、ワイヤラス張りなどの壁の場合は、パイプなどでコードの保護を行ってください。

〔ポンプ接続コード取出開口部の防水処理〕



注意

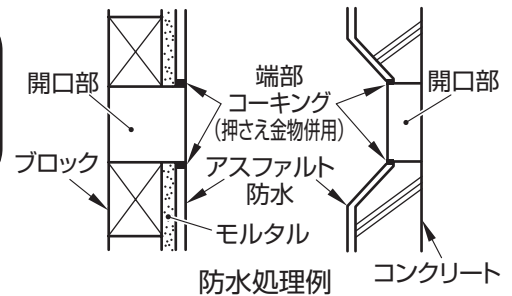


必ず実行

ポンプ接続コード取出開口部の防水処理は、確実に行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。

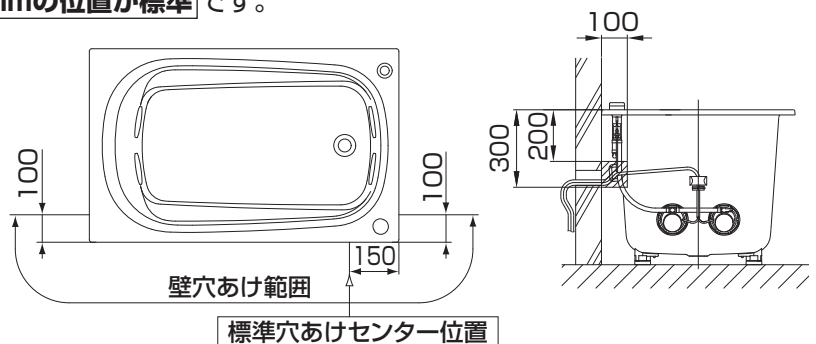
右図にある防水処理例を参考にして施工してください。



ネオエクセレントバス・ネオマーブバスの場合

- 穴あけセンター位置は **足側リム端より150mmの位置が標準** です。

※穴あけのセンター高さは、浴槽リム上より下 **200～300mm** の位置としてください。



スーパーエクセレントバスの場合

※ネオエクセレントバス・ネオマーブバスで上記指定範囲内に壁開口できない場合も含む。

〔サヤ管の事前設置〕

●事前準備部材（現場手配）

①サヤ管（PF管等）

- 内径φ36mm以上（ポンプ接続コード用）



注）「水道用サヤ管」は固くて曲げ半径が大きくなり引き回しが難しくなりますので、必ず「電線用サヤ管」を手配してください。

③木ネジ

- サドルバンド固定用



**注）ねじ長さは20mm以下としてください。
浴槽の固定板の厚みが25mmしかありません。**

②サドルバンド（サヤ管固定用）

- ポンプ接続コードサヤ管固定用

※サヤ管径に応じたサイズをお選びください。



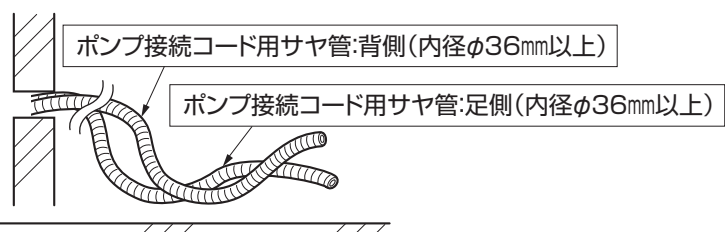
④針金等

- 接続コード引き出しに使用します。
- あらかじめサヤ管の中に通しておいてください。

※各部材については現場に合わせて必要数量を手配してください。

※サヤ管（PF管等）を浴槽下地づくり前に浴槽据付部に取り出しておいてください。

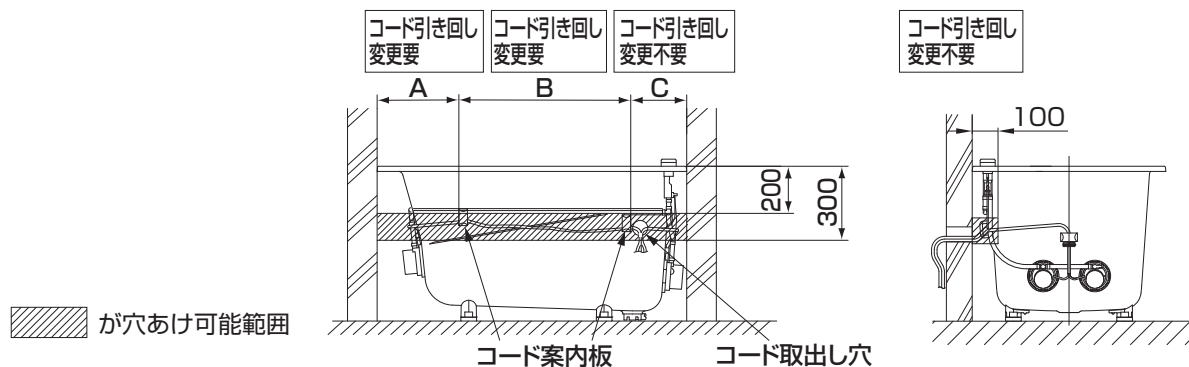
注）接続コードは全部で2本あります。



ネオエクセレントバス・ネオマーブバス（指定範囲内）の場合

〔コード引き回しの変更（標準穴あけ位置以外の場合）〕

- コード引き回し変更要範囲に穴あけする場合は、ポンプ接続コードの引き回しを変える必要があります。（引き回しを行わないと接続コードのメンテナンスができなくなります。）



接続コード取出口(mm)

浴槽品番	A	B	C
PAQ1600	410	810	380
PAQ1610	380	840	380
PAQ1620	405	968	277
PAQ1400	307	786	307

浴槽品番	A	B	C
PNQ1200	312	671	217
PNQ1230	312	666	222
PNQ1300	352	726	222
PNQ1330	312	766	222
PNQ1400	352	826	222

浴槽品番	A	B	C
PNQ1440	337	826	237
PNQ1460	357	791	252
PNQ1540	372	906	222
PNQ1680	372	1006	222

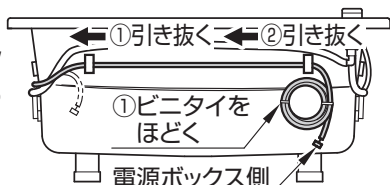
※PNQ1680はA寸法の範囲に穴あけした時のみ、コードの引き回しを変更してください。

（引き回し変更例）

背側、Aの範囲に穴をあけた場合	Bの範囲に穴をあけた場合
背側のコードをコード案内板A,Bから抜く 足側のコードをコード案内板A,Bに通す コード案内板A コード案内板B	背側のコードをコード案内板Bから抜く 足側のコードをコード案内板Bに通す コード案内板A コード案内板B

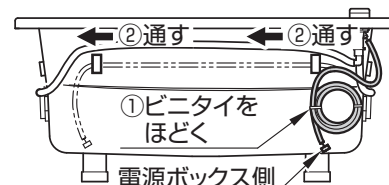
コード案内板からコードを抜く場合

コードのビニタイをほどいて、ポンプモーター側からコードを引っ張って、電源ボックス側を抜いてください。



コード案内板にコードを通す場合

コードのビニタイをほどいて、電源ボックス側のコネクタ側から通してください。



標準のポンプ接続コード8mで、長さが足りない場合は、別売品の長尺コード（別売品:P.39参照）を使用してください。



警告



禁止

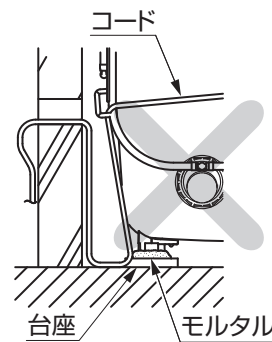
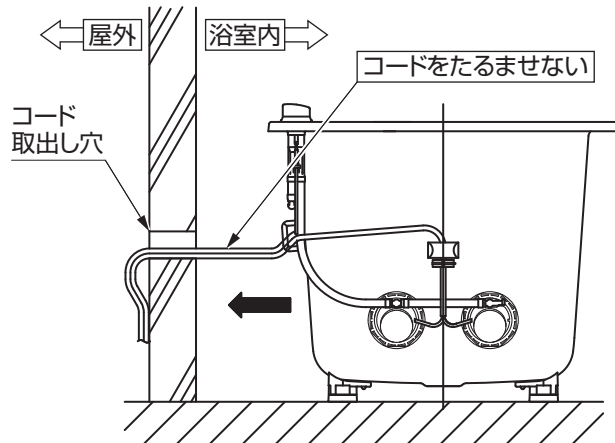
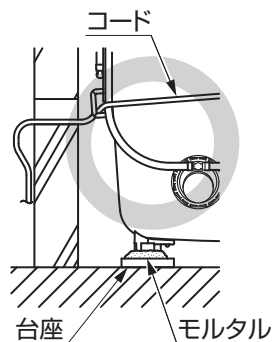
接続コードの加工はしない
感電や発熱の原因となります。

※必要な部材を手配の上浴槽設置前にコード交換を行ってください。

6 ポンプ接続コードの壁取り出し

ネオエクセレントバス・ネオマーブバス（指定範囲内）の場合

- ① コード取出し穴より **ポンプ接続コード2本を送り出して** ください。
コードは浴室内でたるまないよう屋外に送り出してください。
(コードが引っかかりメンテナンスができなくなります。)
その時、**束ねてあるコードはほどいて** 取り出してください。
- ② **浴槽は水平に** 据え付けてください。
据え付ける時に **コードがモルタルに埋ったり**、床についたり、**浴槽に挟み込まれること** がないように注意してください。
特に、短辺側にコードを引き出す場合は十分に注意してください。

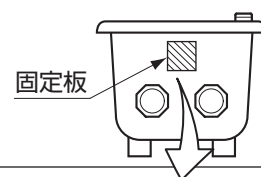


ネオエクセレントバス・ネオマーブバス（指定範囲外）の場合

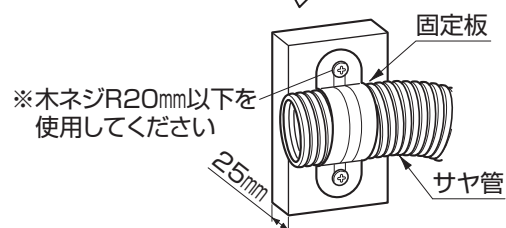
(1) サヤ管の浴槽への固定

浴槽についている固定板にサドルバンドにてサヤ管（PF管等）を固定してください。

- ① 固定板取付位置はポンプ取出口近くにあります。



- ② ポンプ接続コードのサヤ管を固定板にサドルバンドにて固定してください。(背側、足側共)
※サヤ管：内径φ36以上
サドルバンド：サヤ管径に応じたサイズ
[注意] サヤ管の出口は固定板の端に合わせてください。

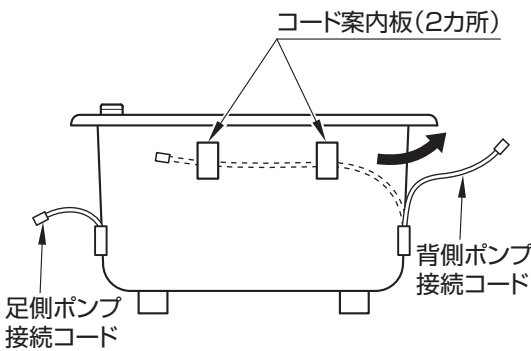
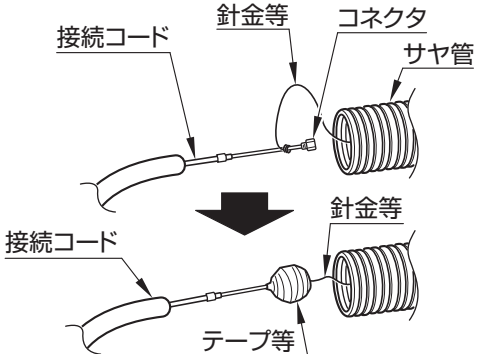
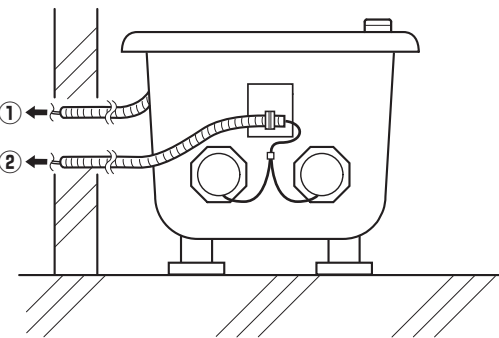


- 注1：固定板へのサヤ管固定については現場の引き回し(点検口位置)に応じ固定板に対する取出方向や取付位置を変更して取り付けてください。
- 2：接続コードの施工については必ずサヤ管を使用してください。メンテナンスが出来なくなります。



(2)ポンプ接続コードのサヤ管への引き回し

ポンプ接続コードをサヤ管の中へ通します。

①背側のポンプ接続コードをコード案内板より引き抜いてください。	
②それぞれの接続コードにあらかじめサヤ管の中を通した針金等を巻き付けてください。 ※接続コードに巻き付ける針金等は、あらかじめサヤ管の中を通しておいてください。 ※接続コードの「電源BOX側」と表示のある方をサヤ管に通してください。	
③サヤ管の出口より針金を引っ張り接続コードをサヤ管の中に通して引き出してください。 ※接続コードがたれたままですとモルタルに埋れたり、床についたり、浴槽に挟み込まれる場合がありますので、コードを引き出す際は、たるみのないように引き出してください。 ※ { ①背側ポンプ接続コード ②足側ポンプ接続コード	

7 ポンプ接続コードの取り付け

スーパーエクセレントバスの場合

(1)ポンプ接続コード取り付け(浴槽側)

●事前に取り出しておいたサヤ管（PF 管等）にポンプ接続コードを通してください。（2 本）

※ポンプ接続コードには「背側」「足側」のラベルを貼っていますが、PVV1620、PVV1410 以外はどちらを接続しても動作に影響はありません。

（PVV1620、PVV1410 についてはP.23の図をご参照ください。）

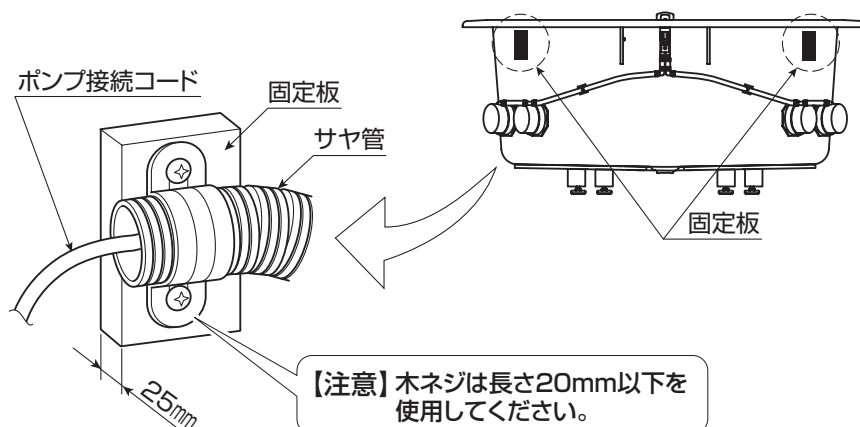
●浴槽についている固定板にサドルバンドでサヤ管（PF 管等）を固定してください。

【参考】

ポンプ接続コード用

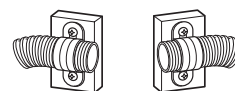
・サヤ管…内径φ36 以上

※サドルバンドはサヤ管径に応じたサイズをお選びください。



【注意】サヤ管の出口は固定板の端に合わせてください。

【注意】固定板へのサヤ管固定については現場の引き回し（点検口位置）に応じ、固定板に対する取り出し方向を変更して取り付けてください。

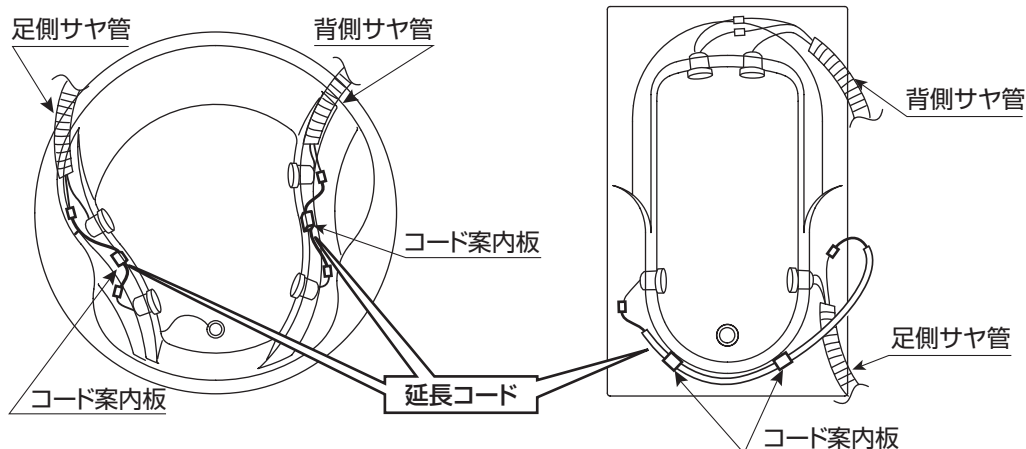


【注意】ポンプ接続コードの施工については必ずサヤ管を使用してください。メンテナンスが出来なくなります。

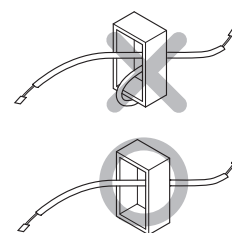
●PVV1620およびPVV1410の場合、付属の延長コードを下図のように接続してください。

〈PVV1620の場合〉

〈PVV1410の場合〉



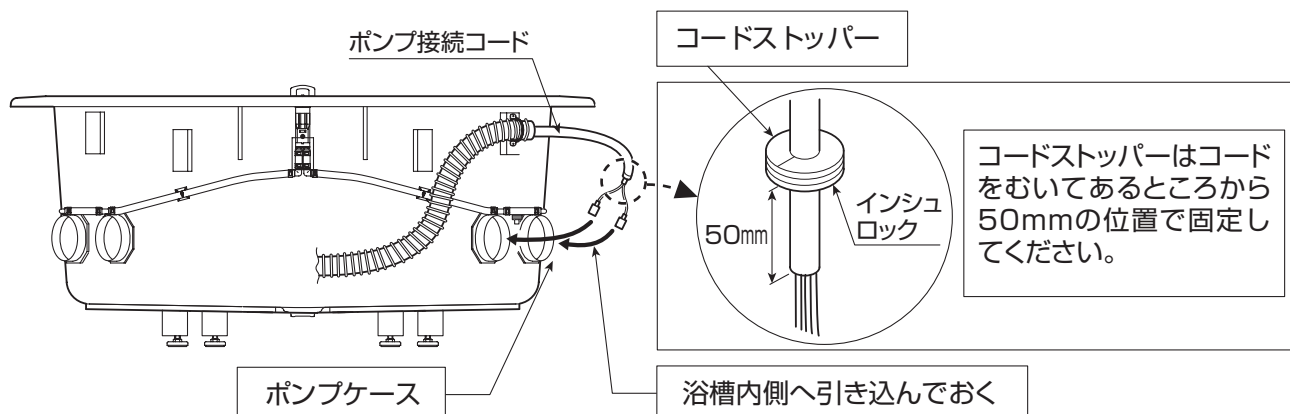
【注意】延長コードはコード案内板に巻きつけないでください。メンテナンスができなくなります。



【注意】延長コードは必ずコード案内板に通してください。メンテナンスができなくなります。

(2)コードストッパー取り付け

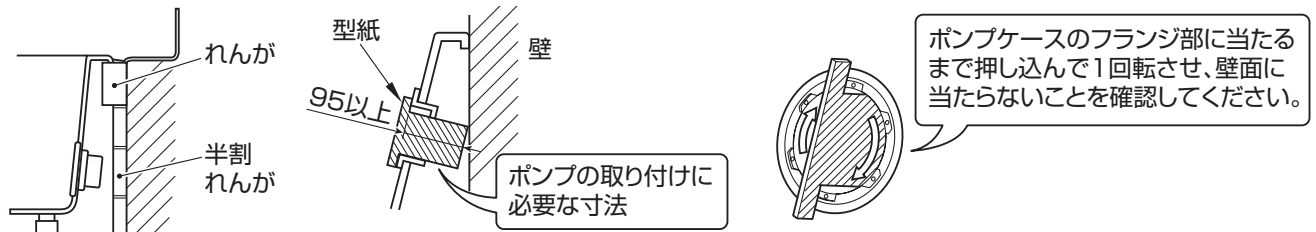
●ポンプ接続コードにコードストッパーを固定し、コネクタ部を**ポンプケースから浴槽内側に引き出してください。**



8 ポンプ・電源ボックスの取り付け

(1) ポンプ取り付け

【注意】 付属のポンプ取合確認用型紙にてポンプが干渉しないことを確認してください。



① ポンプケース・エア接続部にキズ・ゴミ・汚れがないか確認してください。	
② ポンプ本体のコネクタとポンプ接続コードのコネクタを接続してください。 ※コネクタは“カチッ”と音がするまで確実に取り付けてください。	
③ ポンプOリング部に巻いてある養生テープをはがしてください。 (Oリング(3個)が確実に付いていることを確認してください)	
④ ポンプ本体上下及びポンプ本体とポンプケースのガイド位置を確認してください。	
⑤ 先にコネクタを通し、コネクタがポンプ本体に乗り上げないように注意してポンプ本体とポンプケース中央上のマークを合わせるように入れてください。 ※ポンプ本体挿入時Oリングが入りにくいのでポンプ本体を強く手で押して、Oリングが外れないように注意しポンプとポンプケースにすき間がないように押し込んでください。 ※コネクタがポンプ本体に乗り上げているとエア接続部にコネクタがあたりポンプ本体が入りません。	

- ⑥ ポンプ本体にリングをセットしてリングとポンプ本体をポンプケースにねじ(M3)3本でドライバーにて締め付けてください。

⚠ 注意



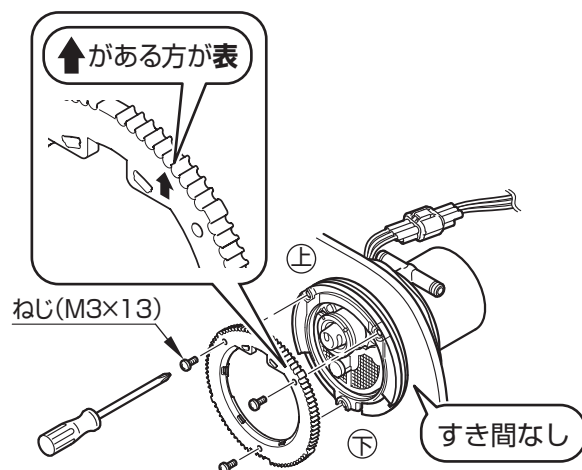
禁止

電動ドライバーは使用しない
強く締め過ぎると破損します。

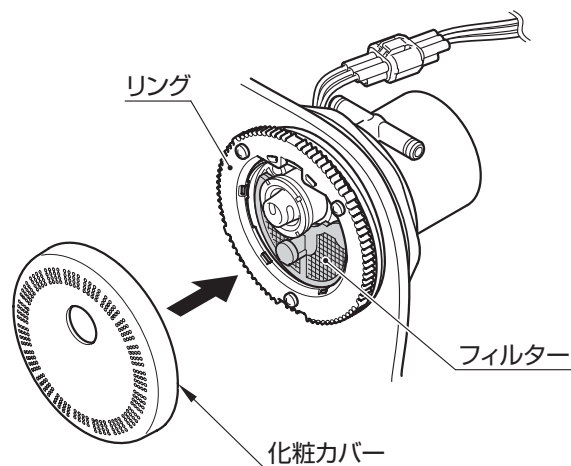
手締めで



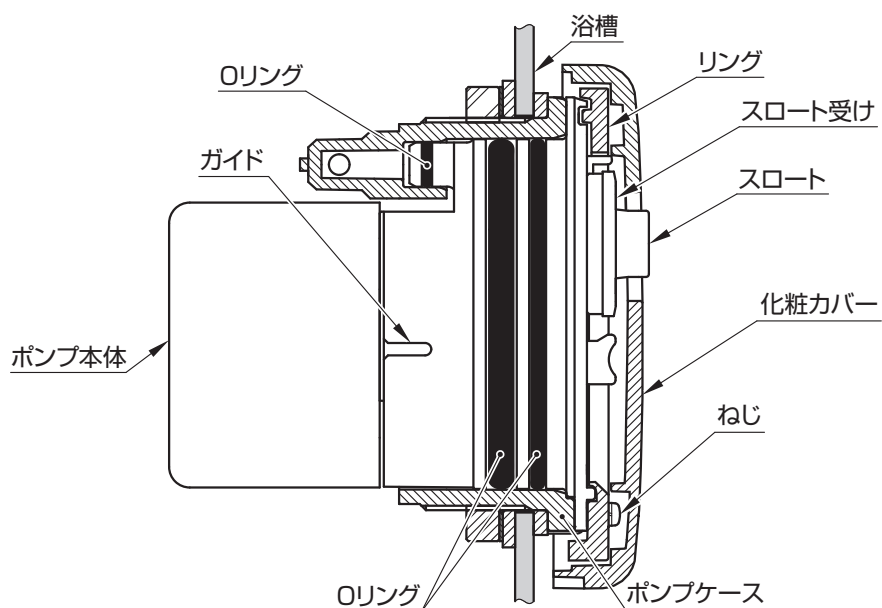
- ※ ポンプ本体とポンプケースのすき間がないように確実に取り付けてください。
- ※ 締めすぎによりねじの頭が変形してけがをするおそれのあるものは予備のねじと交換してください。
- ※ 摩耗していないNo2のドライバーを使用してください。
- ※ リングの表裏を間違えないように取り付けてください。



- ⑦ ポンプ本体にフィルターが付いていることを確認し、リングに合わせてポンプ本体に化粧カバーを取り付けてください。



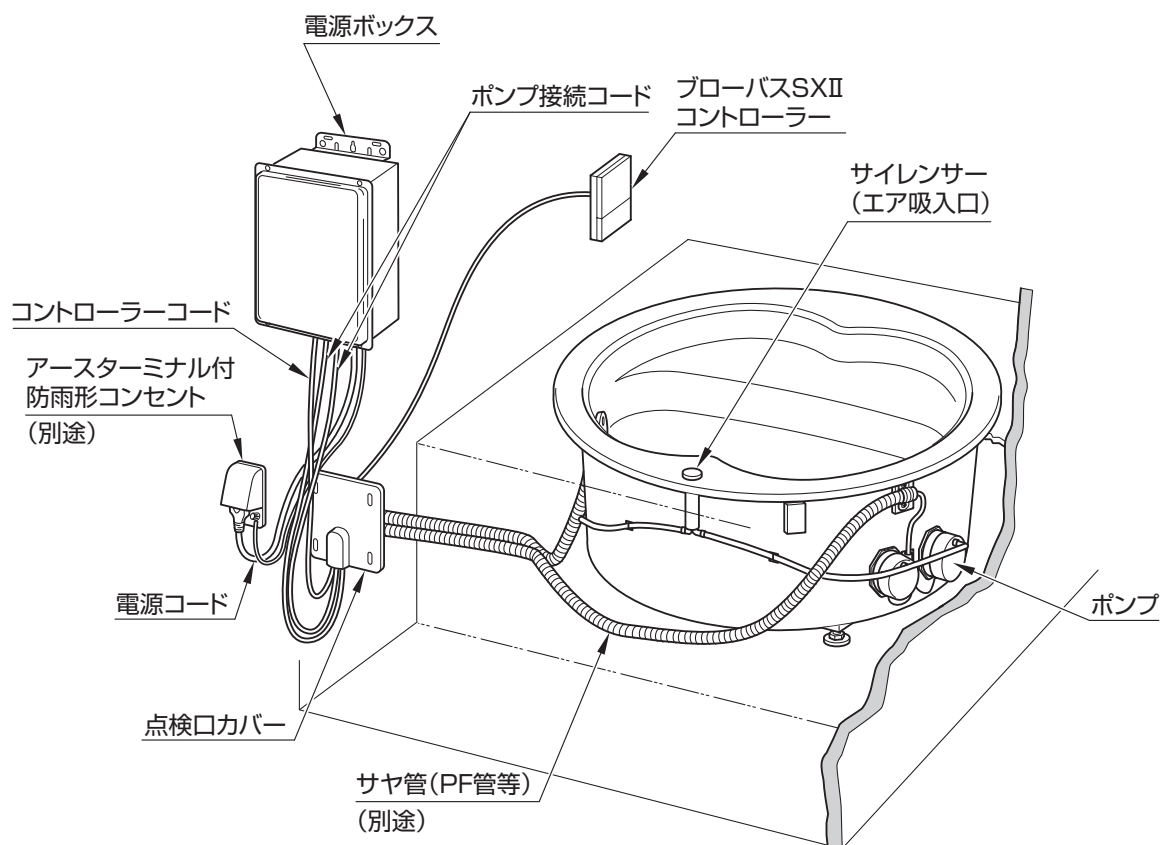
〈ポンプ取付完成図〉



(2) 電源ボックスの取り付け

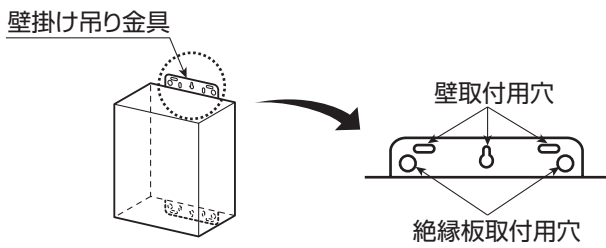
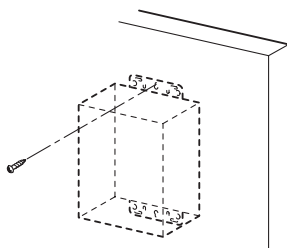
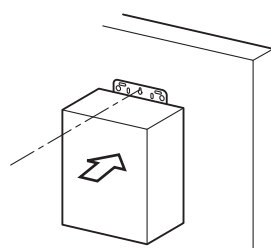
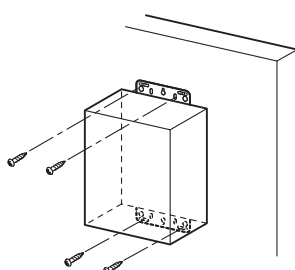
警告	必ず実行 電源ボックスの取り付けは、質量に十分耐える強度のある壁に施工説明書通りに確実にを行う 工事に不備があると、電源ボックスの落下によりケガをするおそれがあります。
	禁止 メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電源ボックスを取り付ける場合、電源ボックスと造営物とは電気的に接続しない 感電や発熱・火災の原因となります。

●設置図



- 浴槽のポンプやコントローラーと電源ボックスをつなぐコードの長さはポンプ接続コード (8m)、コントローラーコード (8m) です。電源ボックスはコード接続可能な範囲で取り付けてください。コード長さが足りない場合、浴槽据え付けに P.39の長尺コード (別売品) に交換してください。
- 電源ボックスの電源コードの長さは 2 m です。コードの届く範囲で設置してください。
- 電源ボックスは浴室外で点検の可能な換気の良い場所に設置してください。
- 電源ボックスは屋外設置可能ですが、次のような条件では、電源ボックスに保護カバーを取り付けてください。
 - ① 海岸地区 (塩害による腐食などの予防)
 - ② 積雪が予想される地域

●取り付けに必要なねじは**現場にて適切なねじ**を準備してください。

①ねじの取付位置は壁取付用と絶縁板取付用があります。	 壁掛け吊り金具 壁取付用穴 絶縁板取付用穴
②壁に取付位置を決め、ねじを仮止めしてください。	
③電源ボックスをねじに引っ掛けてください。	
④電源ボックスの水平を出し、上側 3 本、下側 2 本の計 5 本のねじを壁取付用穴から止めてください。	

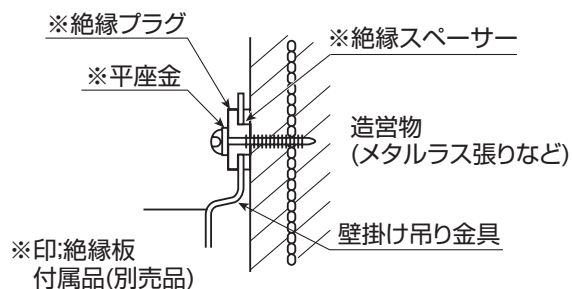
〈メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物の場合〉

絶縁板の取り付け

電気設備技術基準により、メタルラス張り・ワイヤラス張りなどの木造の造営物に電気機器を取り付ける場合、機器と造営物とは、**電氣的に接続しないように施設**しなければなりません。

したがって右図のような施工が必要となります。

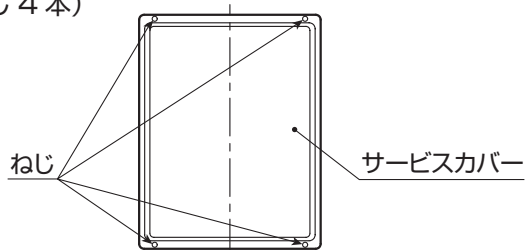
- 絶縁板取り付けの詳細は別売品絶縁板 (品番PZ6192) の施工説明書をご参照ください。



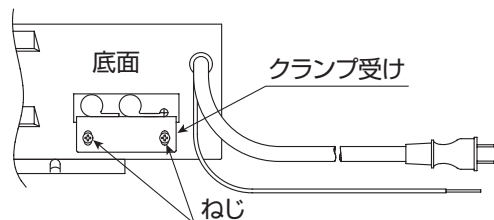
【注意】 絶縁板の取り付けは壁掛け吊り金具の絶縁板取付用穴を使用してください。

9 コードの接続(電源ボックス側)

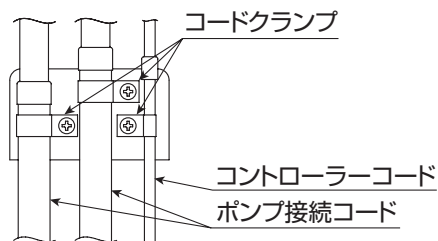
- ① サービスカバーを取り外してください。
(ねじ 4 本)



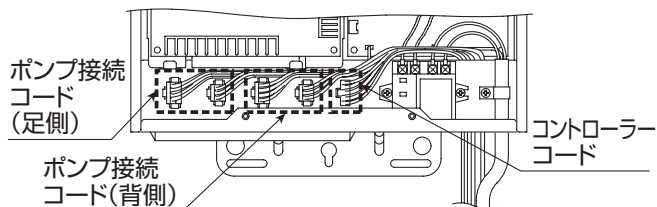
- ② 電源ボックス底面のクランプ受けを取り外してください。



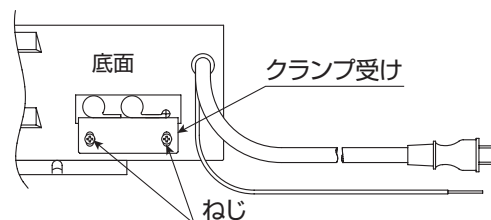
- ③ クランプ受けにポンプ接続コード 2 本、コントローラーコード 1 本をコードクランプで固定してください。
(電源ボックスのコネクタと接続できる位置で)
(コードクランプを固定してください)



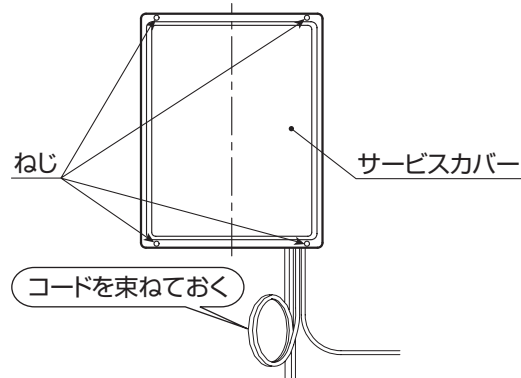
- ④ コードの電源ボックス側コネクタを電源ボックス底面の開口部から通し、電源ボックスとコードのコネクタを接続してください。



- ⑤ クランプ受けを電源ボックス底面の開口部に差し込み、ねじで固定してください。



- ⑥ サービスカバーを取り付けてください。(ねじ 4 本)
⑦ 余ったコードを束ねてください。
※コードは浴室に入れないでください。
(コードのメンテナンスができなくなります)



10 電気工事

警告



アース線

電気工事は、関連する法令・法規にしたがって、
必ず「有資格者(電気工事士)」が行う
アースターミナル付防雨形コンセントを使用する(D種接地工事)
誤った工事を行うと、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

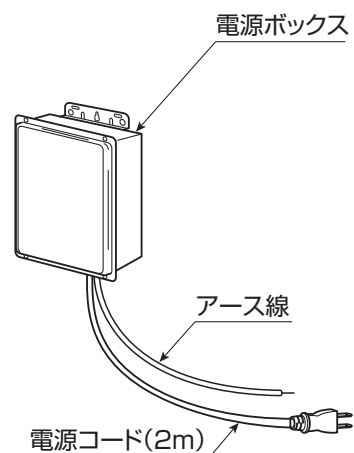


禁止

電源コードの加工や延長コードの使用、また、他の器具との
タコ足配線をしない
感電や発熱・火災の原因となります。

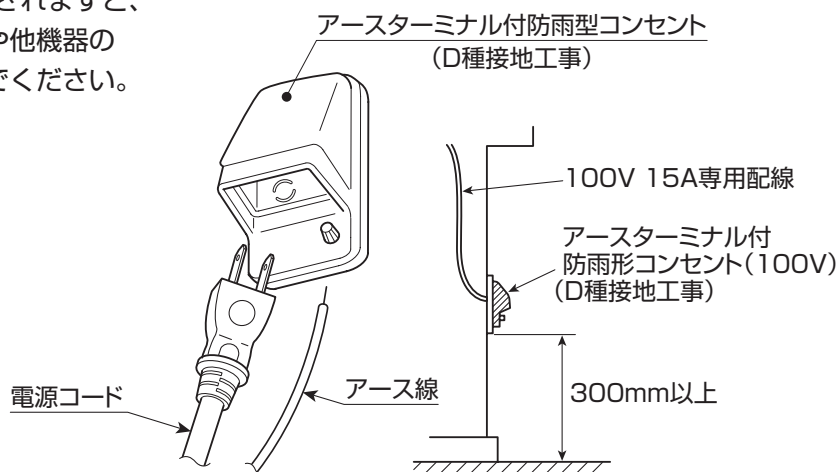
〔電気工事〕

- ①電源コード（電源ボックスにセット）の有効長さは
2mです。
この電源ボックスの電源は交流100V(50/60Hz共用)、
定格消費電力は360Wです。



- ②電源コードの届く範囲内に **アースターミナル付防雨形コンセント(D種接地工事)** を設けてください。
100V15Aの **専用コンセントを使用** してください。

※同一コンセントより照明器具などを使用されますと、
運転時の起動電流により照明のチラツキや他機器の
誤動作の原因となりますので使用しないでください。



11 確認及び試運転

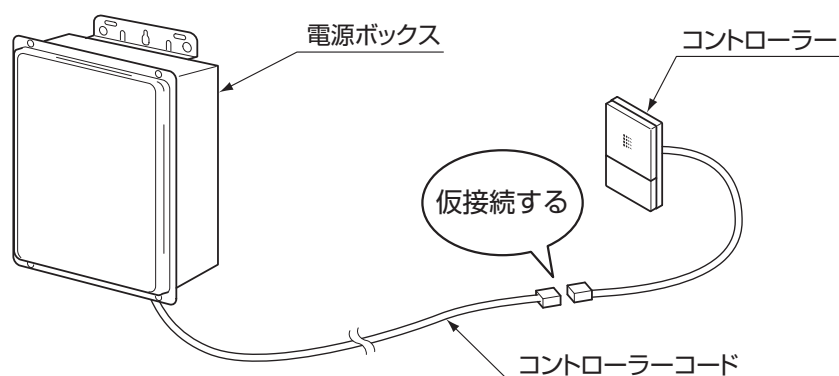
以下の内容で**確認及び試運転**をしてください。

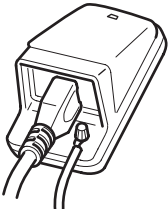
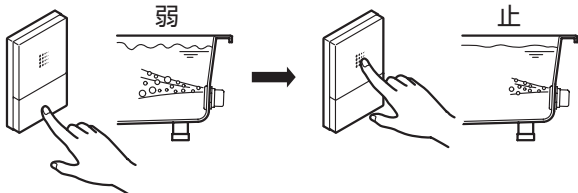
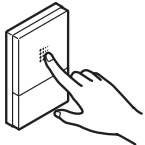
確認

- 電源ボックス及びその周辺に点検、修理など **保守管理上必要な空間** があるか確認してください。
- 余ったコードは邪魔にならないよう、きちんとまとめてあることを確認してください。

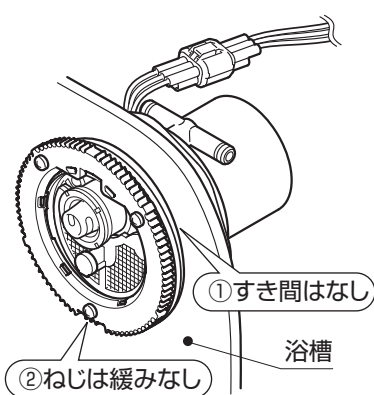
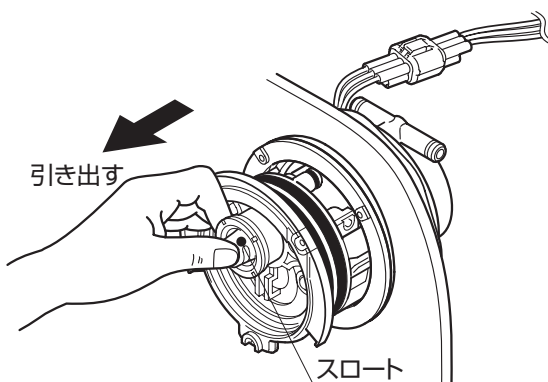
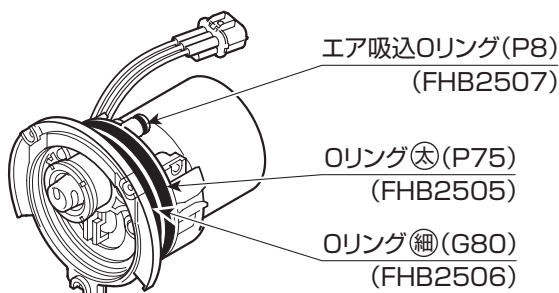
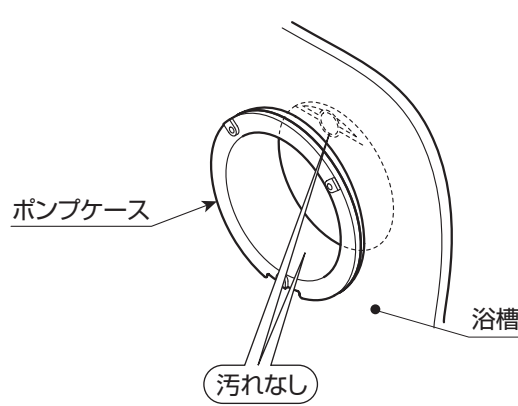
試運転

コントローラーを電源ボックスのコントローラーコードに仮接続してください。



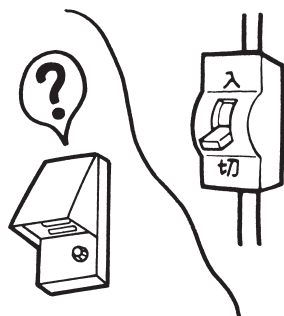
①電源プラグを確実にコンセントに差し込んでください。 	④コントローラーのモードのスイッチを押して弱運転（噴流が弱くなる）になることを確認してください。確認後、メインスイッチを押して噴流を止めてください。 
②ポンプの化粧カバーが完全に水没するまで給水してください。 ※ブロー運転時、化粧カバーが完全に水没していないと正常なブロー運転をしません。 	⑤そのまま 30 分以上放置し、水位の低下がないか確認してください。 （ 浴槽裏面が見える場合は目視で確認してください ） → 水位の低下がある場合は一度浴槽水を排水し、『水漏れ時の処置』を実施し、再度③～⑤の確認を行ってください。
③コントローラーのメインスイッチを押し、噴流が出ることを確認してください。 	⑥水位低下がないことを確認後、浴槽の水を抜いてください。 ⑦お客様が長期間ご使用にならない場合には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

●水漏れ時の処置

■ポンプ取り付け状態での確認	
①ポンプケースとポンプの間にすき間はありませんか？ (処置方法) ポンプを押し込んですき間をなくして取り付けてください。	
②ねじは3本緩みなく確実に締められていますか？ (処置方法) ねじを締め付けてください。	
■ポンプを外して確認	
●リングを先に外してポンプはスロートを持ってゆっくり手前に引き出してください。	
①Oリング(P75、G80、P8)によじれ、切れ、汚れはありませんか？ (対処方法) キズ・よじれ、汚れを直す。切れている場合は部品を手配してください。 (品番は右図参照)	
②ポンプケースに汚れはありませんか？ (処置方法) 汚れを取り除いてください。	

試運転時に作動しない場合、すぐ故障ときめつけず、次のことを確認してください。

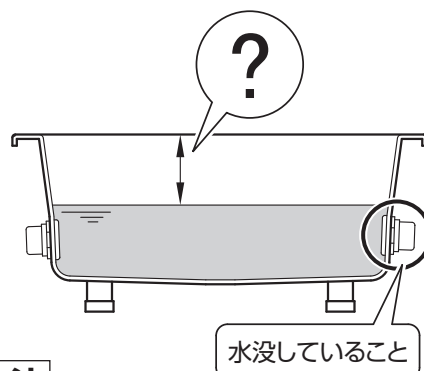
① 電源電圧は正規にきていますか？



処置方法

電源電圧を確認してください。

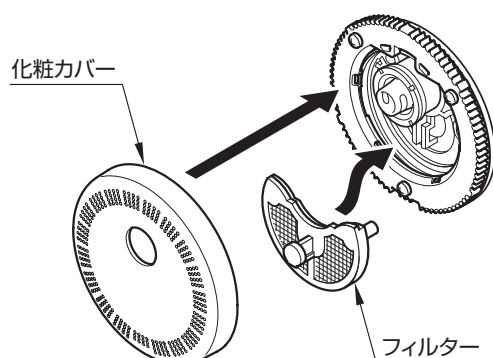
② 浴槽の水位は標準水位に達していますか？



処置方法

浴槽のポンプの化粧カバーが完全に水没するまで、給水してください。

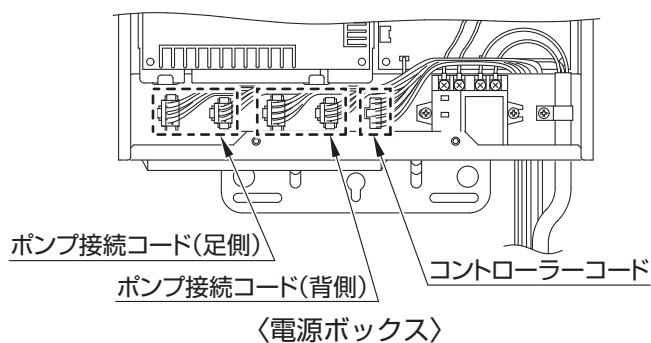
③ 化粧カバー・フィルターは正しくセットされていますか？



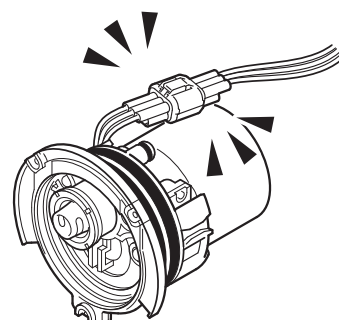
処置方法

化粧カバー・フィルターを正しくセットしてください。
※化粧カバー・フィルターが正しくセットされていないとポンプが作動しません。

④ コントローラーコード及びポンプ接続コードは確実に接続されていますか？



〈電源ボックス〉



〈ポンプ〉

処置方法

コネクタを正しく接続してください。

13 浴槽の据え付け



注意



必ず実行

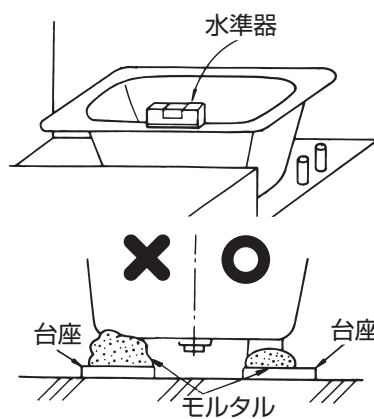
浴槽を据え付ける際の壁・タイルと浴槽との間には、3mm以上すき間を設ける
また、浴槽周囲のコーキングは手順にしたがって確実にを行う

工事に不備があると水漏れし、家財などを汚したり、腐らせたりするおそれがあります。
また、浴槽の熱膨張によりタイルなどの壁材が破損するおそれがあります。

施工のポイント

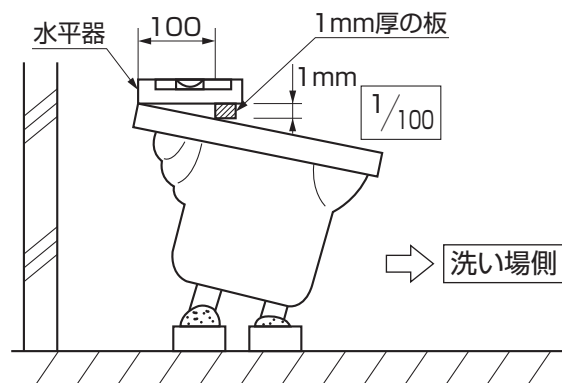
水準器を使用し、浴槽リム面が水平になるように設置してください。

- 浴槽リム面が水平になるように設置してください。
- 浴槽の据え付けは、モルタルにて確実に固定してください。
- 浴槽本体にモルタルをつけないようにご注意ください。



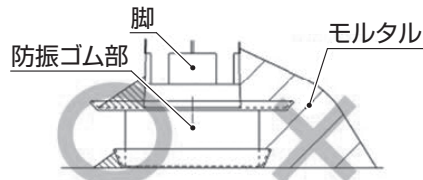
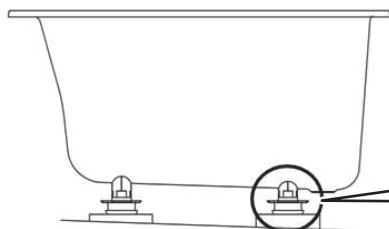
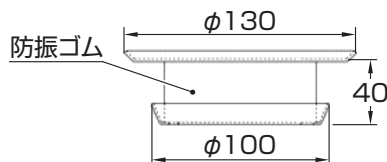
- ただしPAQ1600は、リム面の残水防止のため、
必ず洗い場側へ1/100傾けて据え付けてください。

傾きを確認する際は、右図のように壁面のリムはじより
100mmの位置に1mm厚の板などを置き、
水平をとってください。



ブローバス防振プレート (別売品:PZ6191) を使用する場合

- 防振ゴム部にモルタルをつけないでください。
- プレート高さ(40mm)を考慮してください。
- スーパーエクセレントバスで、ブローバス防振ゴム脚 (別売品：PZ6002、PZ6048)を使用する場合は、
別冊の施工説明書(浴槽本体)を参照ください。



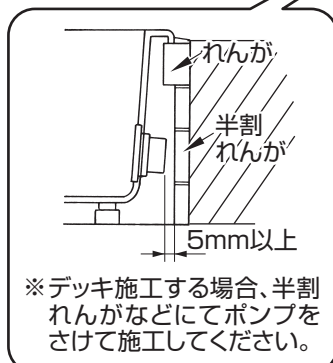
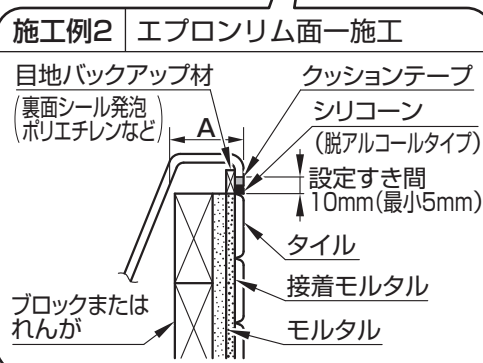
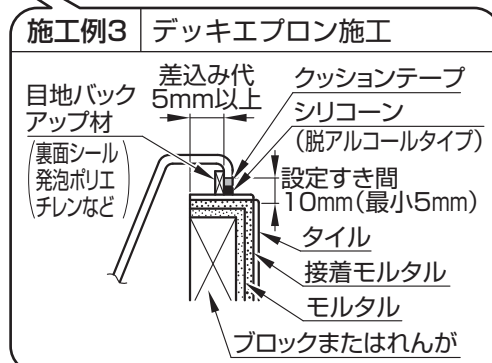
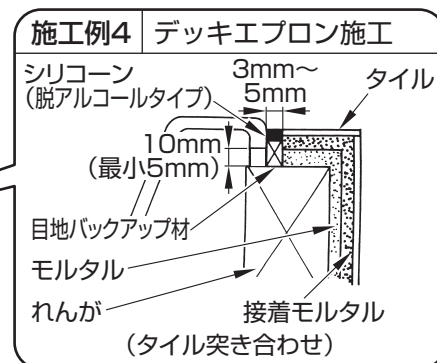
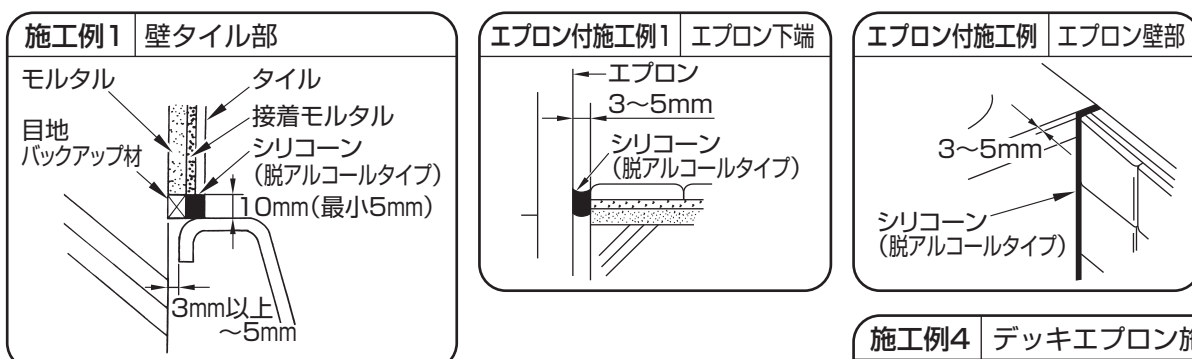
14 タイル仕上げ

※スーパーエクセレントバスは別冊の施工説明書(浴槽本体)を参照ください。

ネオエクセレントバス

壁面およびエプロン部の仕上げは振動を軽減するため浴槽とタイルとの目地充填には、**脱アルコールタイプのシリコーン**をご使用ください。

また、施工例を参考に浴槽と壁およびタイルとのすき間を必ず確保してください。

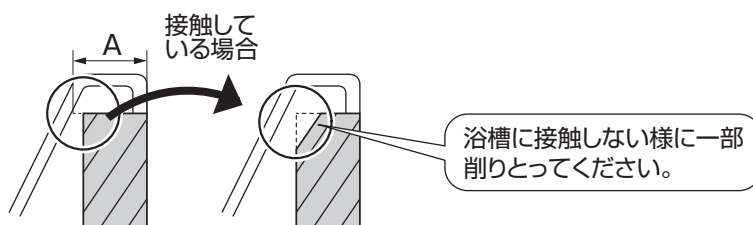


※目地バックアップ材は現場にて手配願います。また、デッキエプロン施工の場合、目地バックアップ材は、必ず浴槽据付前にデッキ面もしくは浴槽リム裏面に貼り付けてください。浴槽据付後では、目地バックアップ材を入れられない場合があります。ブロックの積み上げやタイル貼付け時にはみ出したモルタルが、浴槽に接触しないようご注意ください。浴槽破損の原因となります。

※〈エプロンリム面一施工〉を行う場合、浴槽によってA部寸法がせまい機種があります。(下表参照) その際は半割れんが、ブロックの一部を削り取る等の作業を行い、浴槽に接触しない様に施工してください。

〈エプロンリム裏最小寸法〉

品番	A部寸法
PAQ1600	約55mm
PAQ1610	約37mm
PAQ1400	約48mm
PAQ1620	約46mm



ネオマーバス

施工のポイント

- ネオマーバスは材質に透明感があるため、施工後浴槽リム周囲に黒い影が見えることがあります。同梱のクッションテープを浴槽リム周囲に貼るとその緩和に効果がありますので必ずご使用ください。
- 浴槽とタイルとの間の目地には、シリコン系シーリング材を使用してください。（メジセメントは、使用しないでください。）
- エプロン部の施工は、腰掛けスペースに腰かけやすくするために、できるだけエプロンリム面一施工をしてください。（エプロン付の場合）

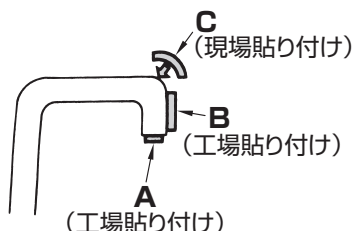
① 浴槽リム周囲にはクッションテープが貼り付けてあります。

また同梱のテープが浴槽に同梱してあります。（ネオマーブのみ）

② 壁面およびエプロン部の仕上げは振動を軽減するため浴槽とタイルとの目地充填には、シリコン系シーリング材をご使用ください。

また、施工例を参考に浴槽と壁およびタイルとのすき間を必ず確保してください。

ご注意

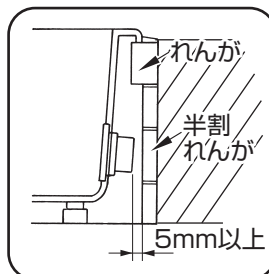
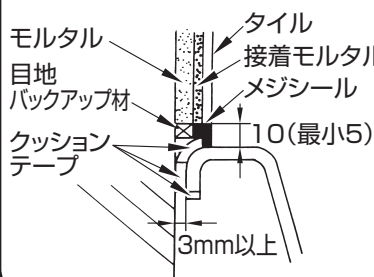


- ① A部のクッションテープは常に貼ったまま施工してください。
- ② 施工例1の場合、付属のクッションテープをC部に貼って施工してください。
- ③ 施工例2、3の場合、B部のクッションテープをていねいにはがして施工してください。
- ④ 施工例4の場合、B部のクッションテープを埋込み高さに合わせて貼り直し施工してください。

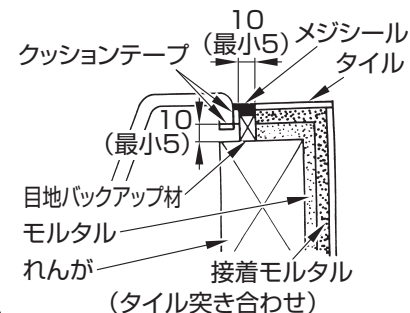
※ 短辺側にデッキ施工する場合、半割れんがなどにてポンプをさけて施工してください。

【エプロンなしの場合】

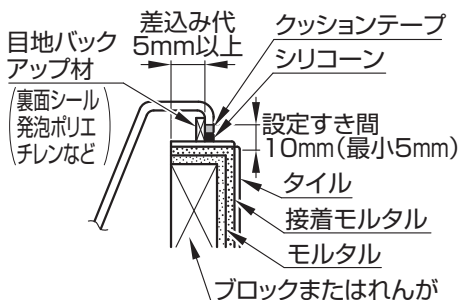
施工例1 壁タイル部



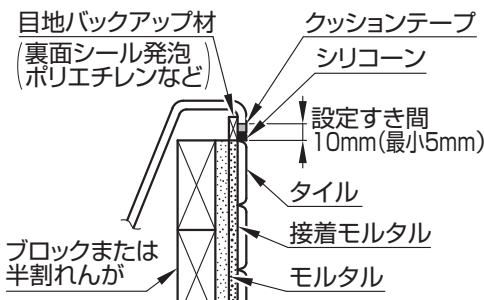
施工例4 デッキエプロン施工



施工例3 デッキエプロン施工

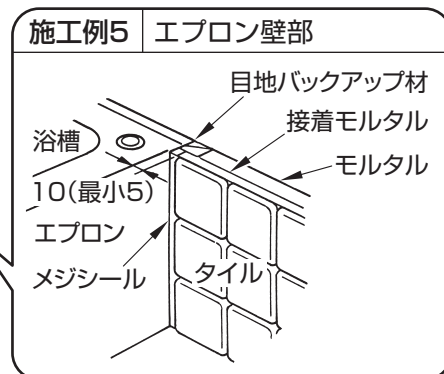
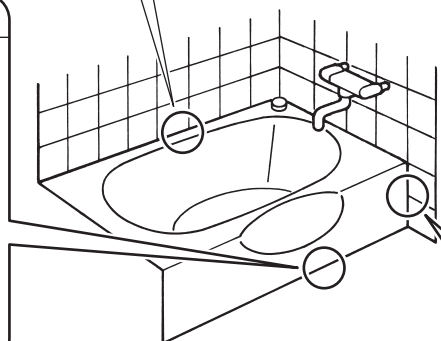
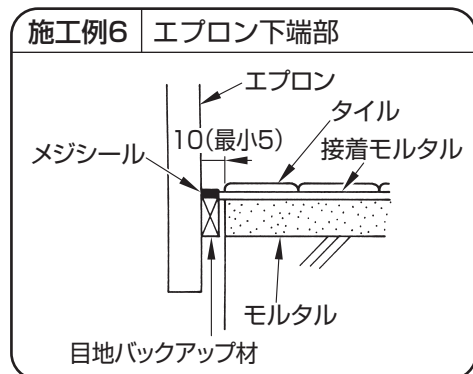


施工例2 エプロンリム面一施工



【エプロン付の場合】

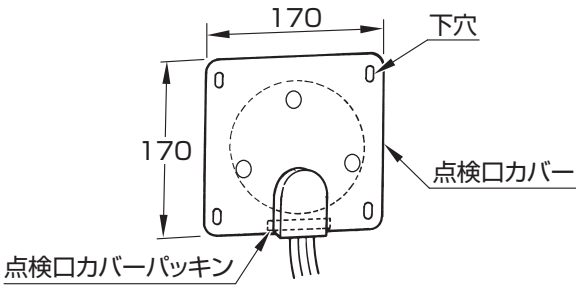
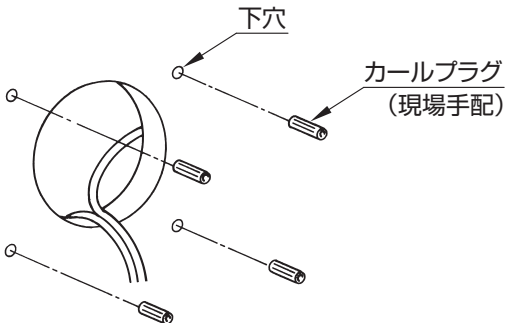
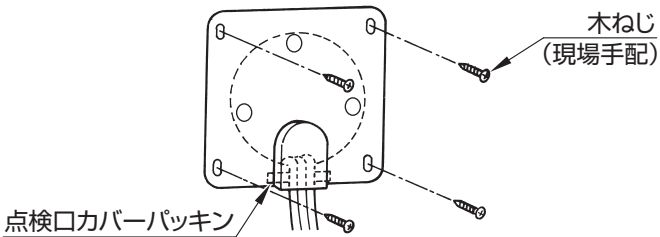
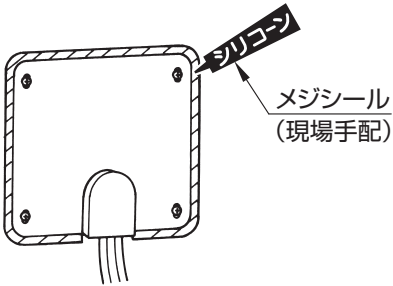
壁タイル部はエプロンなしの場合と同じ仕上げ寸法です。
(施工例1を参照ください。)



- ※ 目地バックアップ材は現場にて手配願います。また、デッキエプロン施工の場合、目地バックアップ材は、必ず浴槽据付前にデッキ面もしくは浴槽リム裏面に貼り付けてください。浴槽据付後では、目地バックアップ材を入れられない場合があります。ブロックの積み上げやタイル貼付け時にはみ出したモルタルが、浴槽に接触しないようご注意ください。
- ※ 浴槽破損の原因となります。

15 点検口カバーの取り付け

木ねじ、カールプラグは現場にて手配願います。

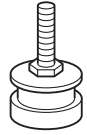
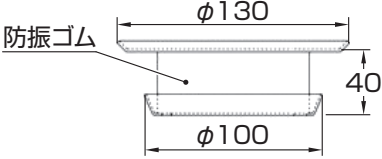
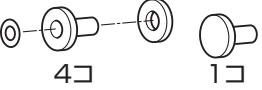
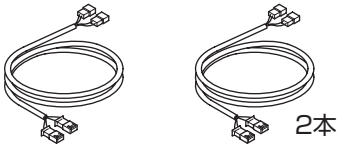
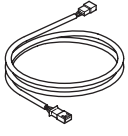
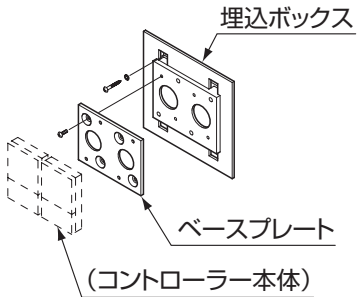
① コード取出し穴に点検口カバーを現物合わせて下穴位置をけがいてください。 (4カ所) ※点検口カバーパッキンでコードを押さえる位置になるようにセットしてください。	
② 下穴位置にドリルで穴をあけ、カールプラグをプラスチックハンマーで打ち込んでください。	
③ 点検口カバーパッキンで中継コードを押さえるように点検口カバーをセットし、木ねじで固定してください。	
④ 点検口カバーの周囲をコーキングしてください。	

16 最終確認

全ての工事、設置が完了しましたらP.30『確認及び試運転』の要領で再度、ブローバスSXⅡの確認・試運転を行ってください。

7. 別売品

●別売品は各々の製品に同梱されている施工説明書にしたがって取付工事を行ってください。

品 名	品 番	必要数/台	形 状	用 途
ブローバス 防振ゴム脚	PZ6002 (4 個入り)	1		ブローバスSXII運転中の作動音が階下や隣室に伝わるのを防ぐために使用します。 ※スーパーエクセレントバスのみ
	PZ6048 (5 個入り)			
ブローバス 防振プレート	PZ6191	1		
絶縁板	PZ6192	1		壁と壁掛け式機能部とを絶縁するためのセットです。
長尺ポンプ接続コード (15m、交換用)	PZ6075	1		電源ボックスを浴槽と標準以上に離れた位置に設置した場合、付属のコードでは電源ボックスに届かないことがあります。 その場合に使用します。
長尺コントローラーコード (15m、交換用)	PZ6076	1		
隣接設置用 コントローラー プレート(2個用)	PZ6061	1		コントローラーをタイル壁などに隣接(隙間約5mm)して設定する場合に使用します。 ※スーパーエクセレントバスのみ

